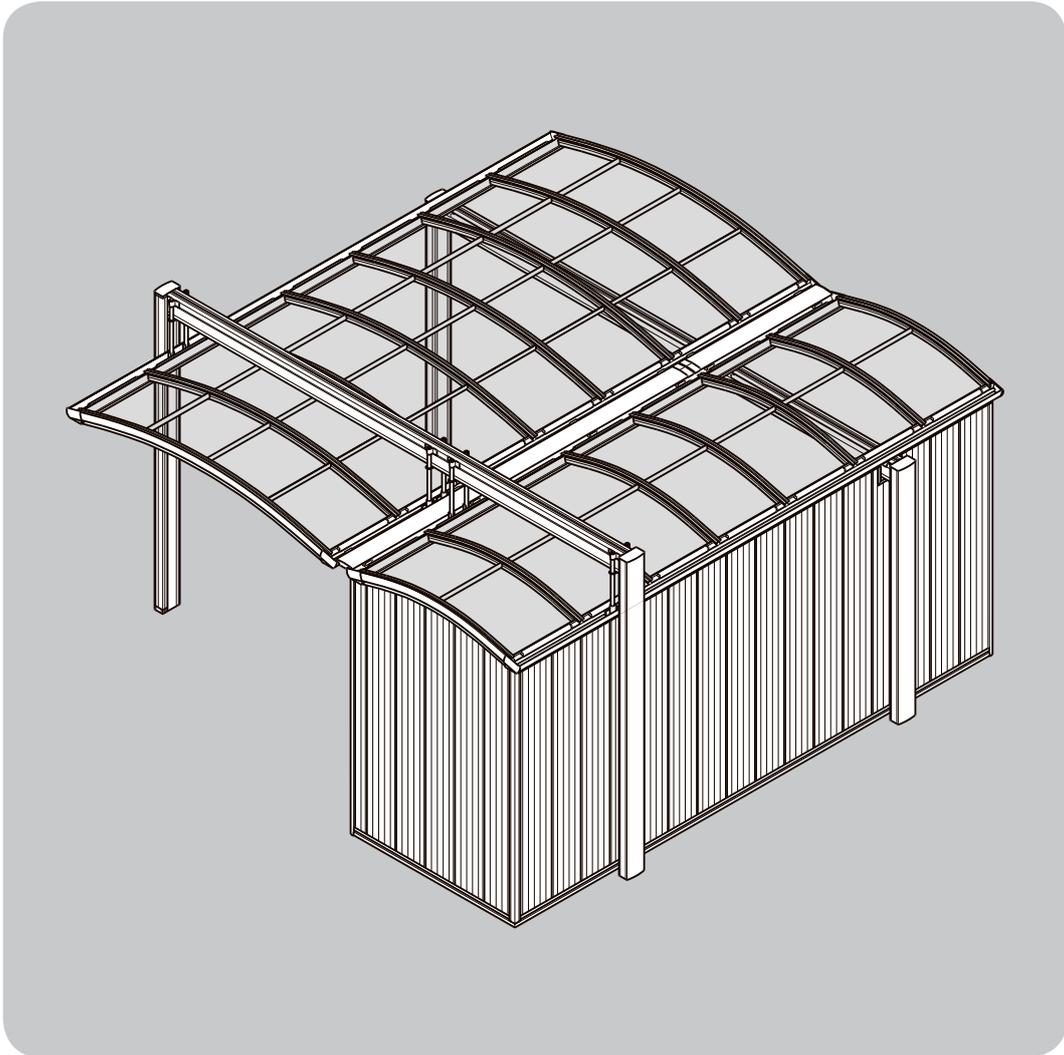


マルチスクエア サイディング囲い

加工・取付け説明書



加工・取付けにあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、加工および取付けについて、重要な内容を記載しております。ご留意いただき、取付けしてください。

目次

■取付けされる方へのお願い……………1・2	●サッシの取付け……………33～35
注意……………1・2	1.部材の加工……………33
■納まり例……………3	2.柱の位置出し……………34
■構成図……………4～6	3.柱の取付け……………34
■使用形材一覧……………7	4.横材の取付け……………34
■設計基準……………8	5.中間柱の取付け……………34
■柱の使い分け……………8	6.サッシ枠の組立て・取付け……………34
■取付方法……………9～38	7.障子の組立て・取付け……………34
●部材の加工……………9～16	8.裏面化粧パネルの取付け……………35
●取付け順序……………17・18	9.軒天の取付け……………35
●取付け詳細……………19～27	●ドアの取付け……………36～38
1.柱の位置出し……………19	1.部材の加工……………36
2.柱の取付け……………19・20	2.柱の位置出し……………37
3.横材の取付け……………21	3.柱の取付け……………37
4.裏面化粧パネルの取付け……………21	4.横材の取付け……………37
5.胴縁の取付け……………22	5.ドア枠の組立て・取付け……………37
6.サイディング役物の取付け…23～25	6.ドア本体の組立て・取付け……………37
7.サイディングの取付け……………26	7.裏面化粧パネルの取付け……………38
8.雨どいアタッチメントの取付け…27	8.軒天の取付け……………38
●腰高囲いの取付け……………28～32	■基本図・姿図……………39～41
1.部材の加工……………28・29	
2.柱の位置出し……………30	
3.柱の取付け……………30	
4.笠木の取付け……………30	
5.笠木カバーの取付け……………30	
6.裏面化粧パネルの取付け……………31	
7.胴縁の取付け……………31	
8.サイディング役物の取付け……………31	
9.サイディングの取付け……………32	
10.エンドカバーの取付け……………32	
11.キャップの取付け……………32	

取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- 囲い部以外の組立て・取付けは、マルチスクエア本体に同梱してある説明書をご覧ください。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

※製品・製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●施工について

- ・施工は専門業者が行ってください。
- ・みだりに改造・変更しないでください。
- ・サイディングの運搬・施工時には手袋などを着用してください。サイディングの切断部分は鋭く、ケガの原因になります。

●部材の固定

- ・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、施工後ねじ・ボルトに緩みがないか点検してください。
- ・タッピンねじの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。

●基礎について

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・柱には水抜きができるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・地下埋設物（配水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
- ・コンクリート（又はモルタル）には急結材は使用しないでください。アルミが腐食するおそれがあります。
- ・海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、水洗いしたものをご使用ください。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。

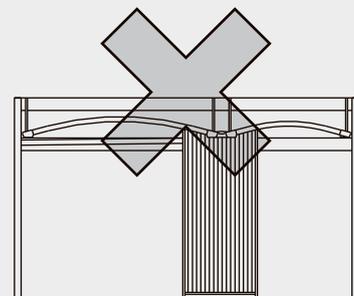
●設置条件

- ・必ず設計基準を守ってください。（P.8参照）
- ・本製品はマルチスクエアの屋根下に取り付けできます。
- ・間口方向の囲いは側枠・中間垂木下のみとなります。
- ・本体の屋根が合掌屋根の場合、合掌部下への囲いの取付けはできません。（P.2参照）
- ・長さ方向の囲いは桁下のみとなります。
- ・本体の柱が桁置き柱仕様の場合、桁置き柱干渉部分への囲い取付けはできません。（P.2参照）

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

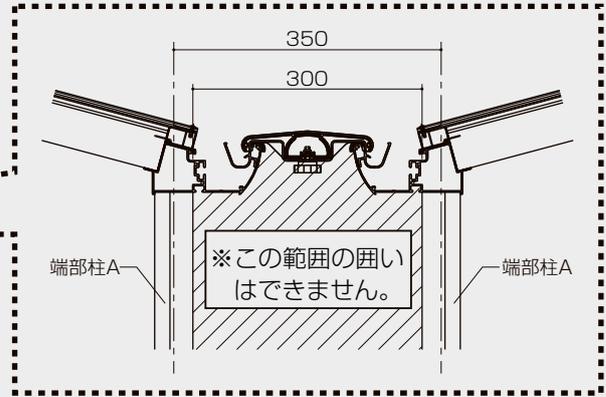
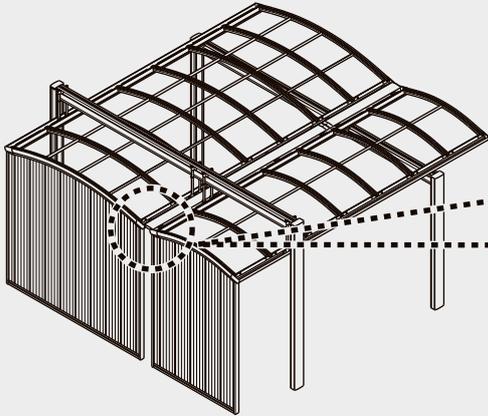
- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。



▲ 注意

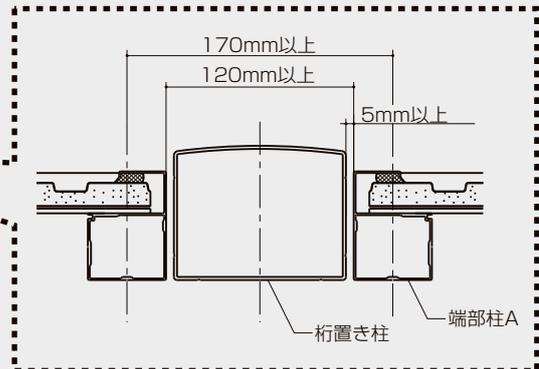
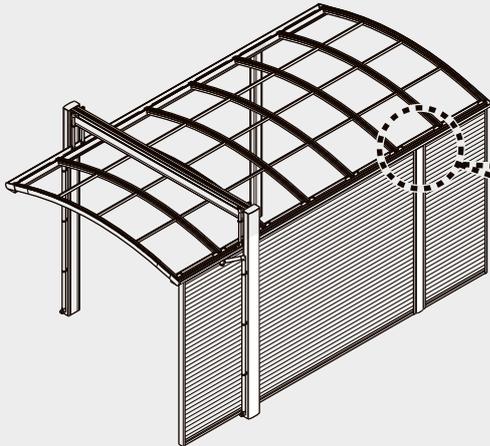
● 屋根合掌の場合の囲いについて

- ・ 本体の屋根が合掌の場合、間口方向の囲いは、図のように桁下までの取付けとな

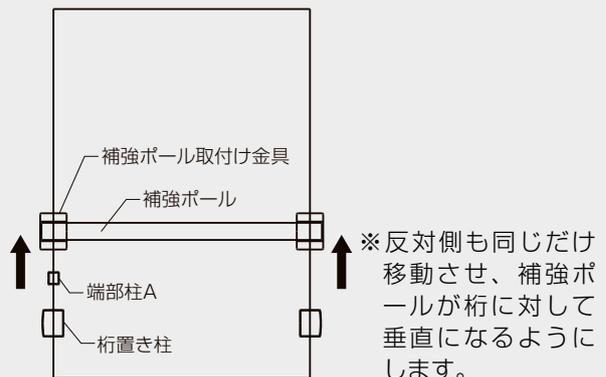
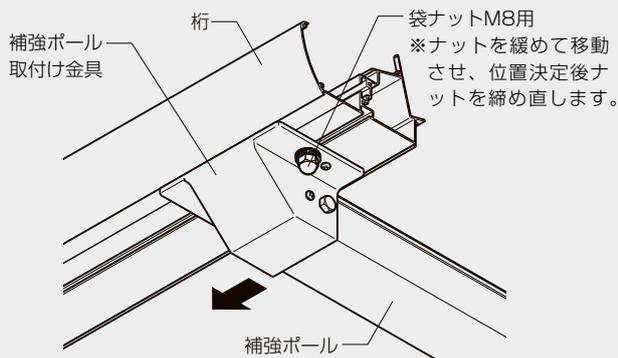


● 桁置き柱仕様の場合の囲いについて

- ・ 本体の柱が桁置き柱仕様の場合、図のように端部柱Aは、桁置き柱とのすき間を5mm以上あけて取付けてください。

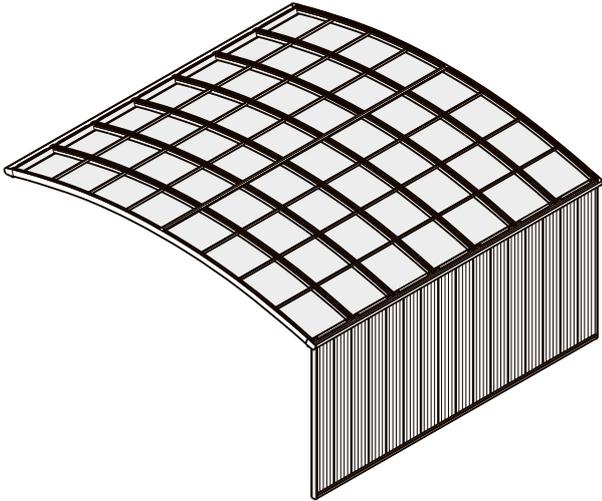


- ・ なお、柱取付け位置が補強ポール取付け金具と干渉している場合は、補強ポールを移動させて干渉しないように調整してください。その際、反対側の補強ポール取付け金具も同様に移動させ、補強ポールが斜めにならないよう注意してください。

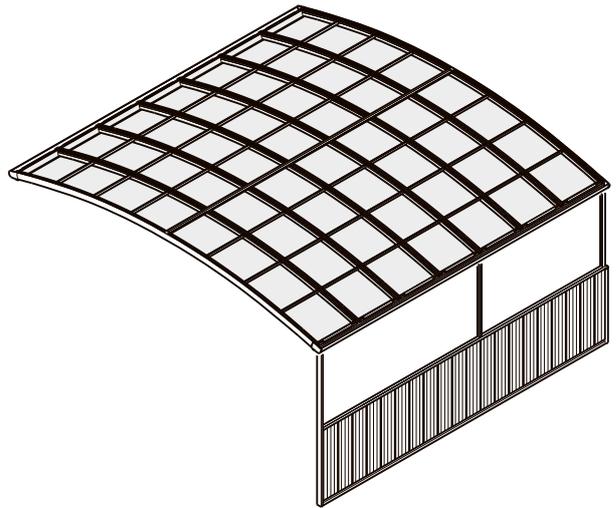


納まり例

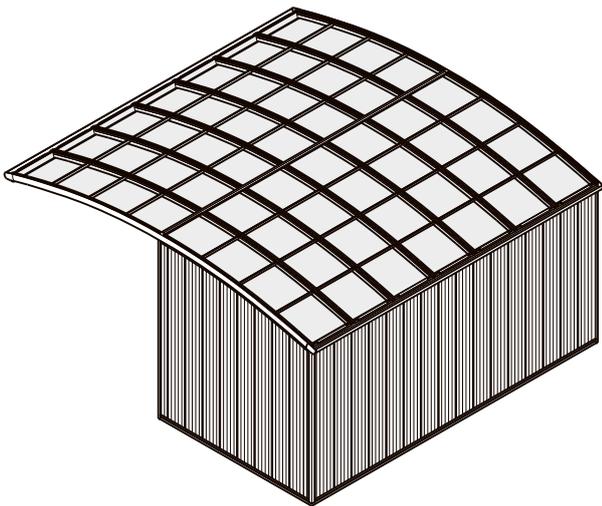
一面囲い



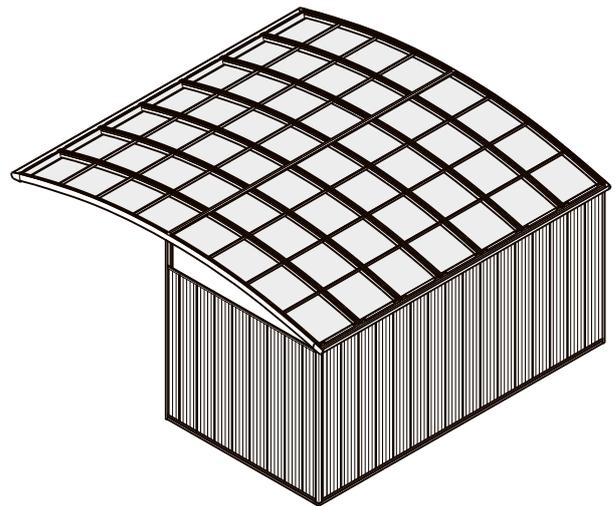
腰高囲い



二面囲い

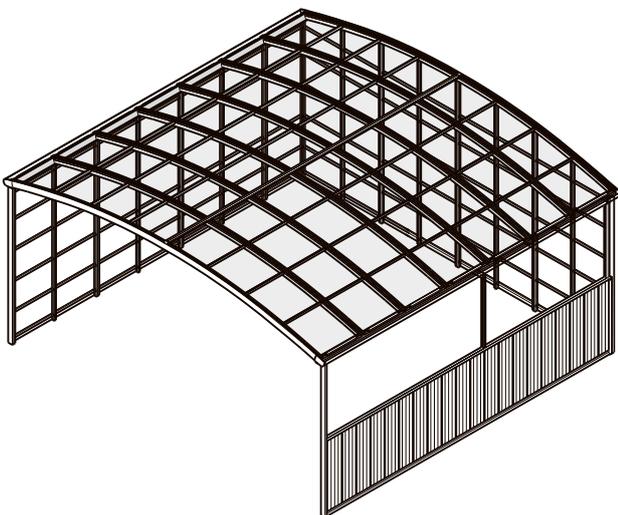


ランマ付き

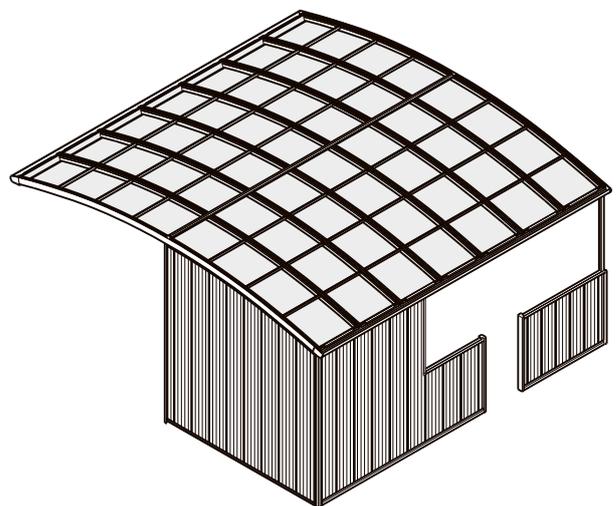


※ランマ部へのパネル取付けはできません。

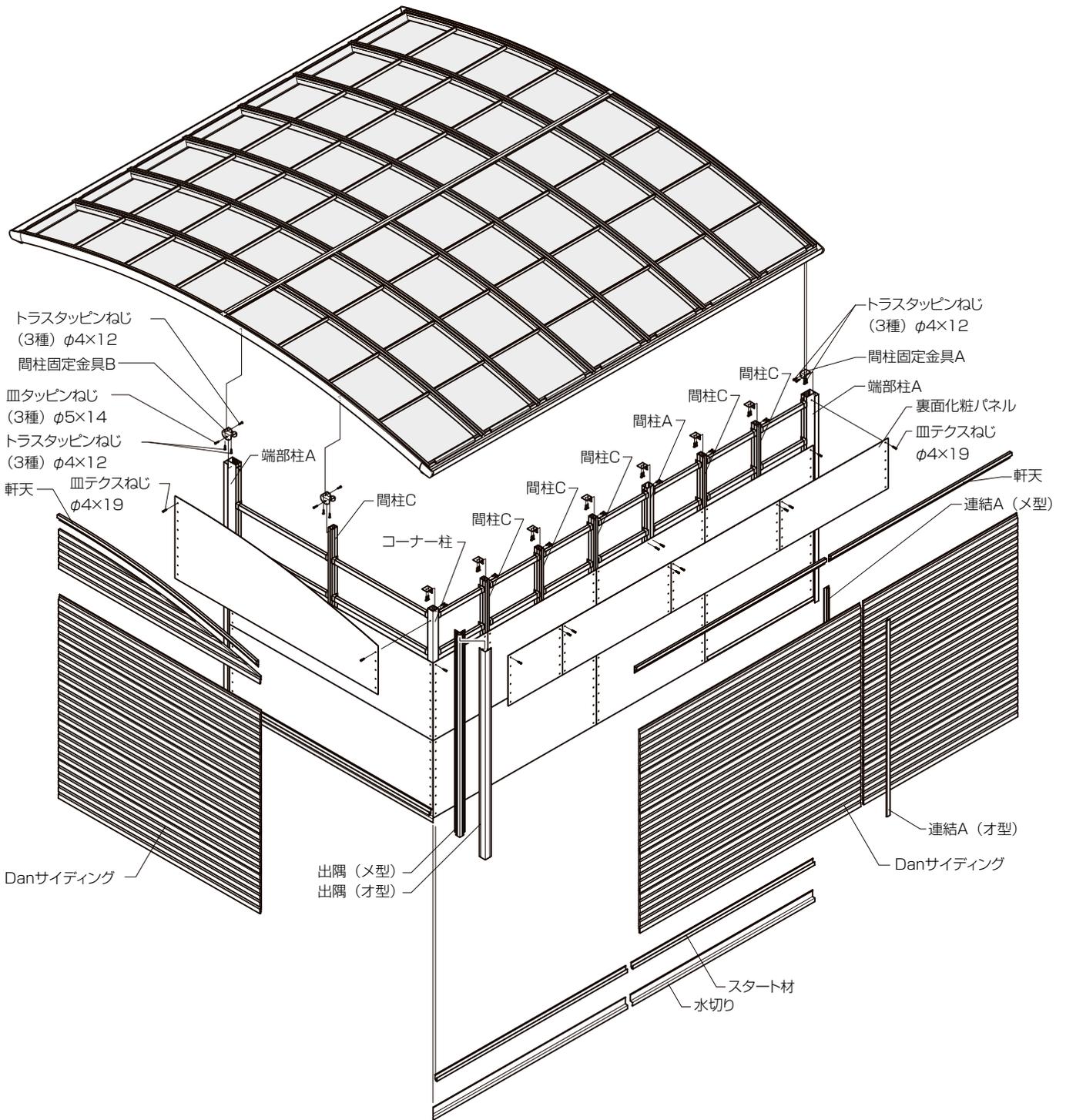
三面囲い



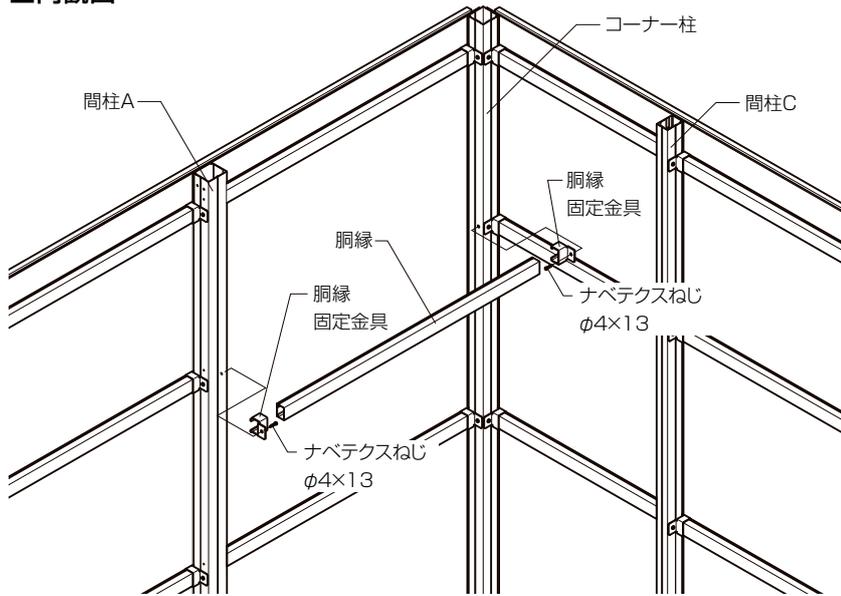
全面／腰高囲い



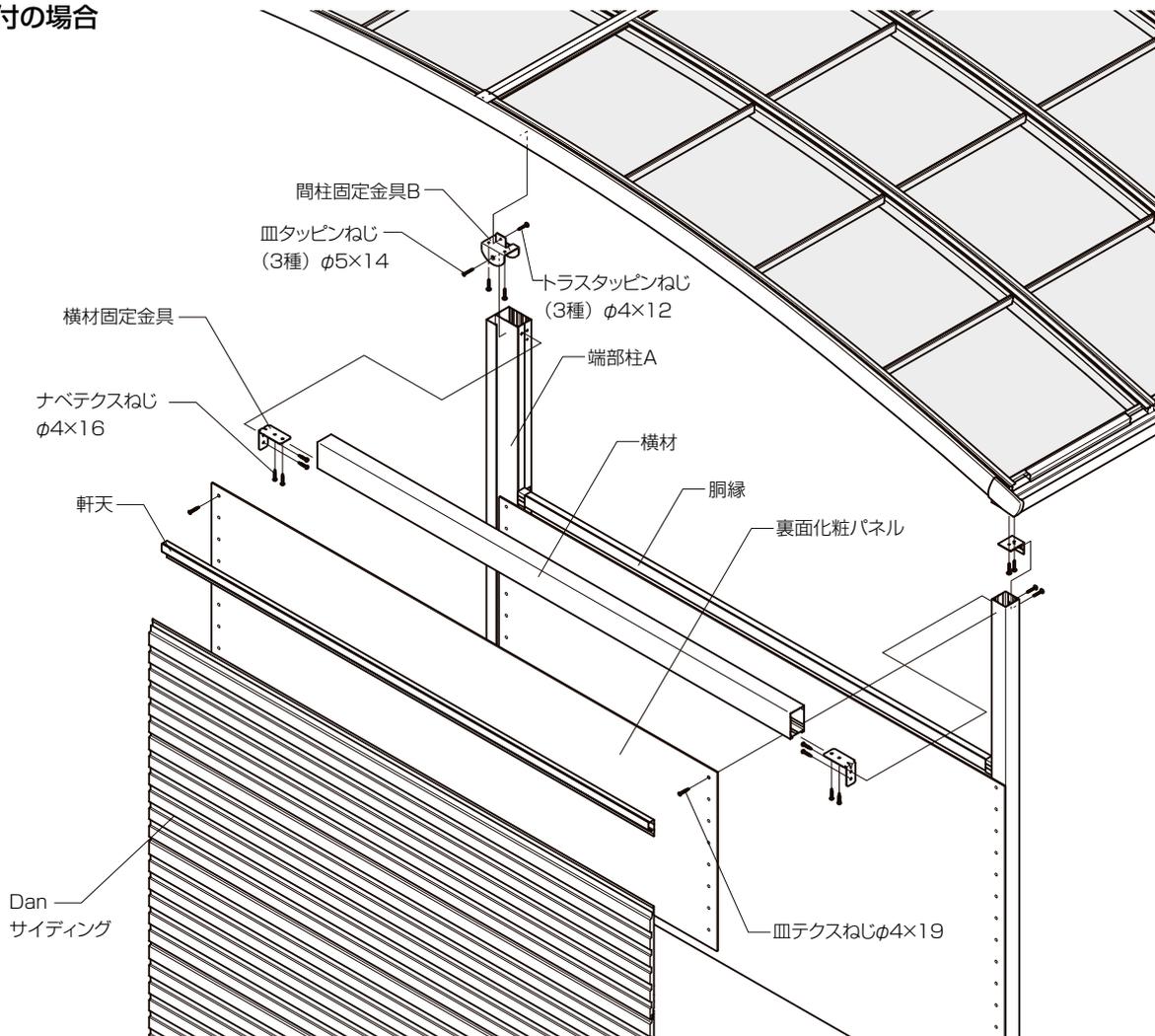
構成図



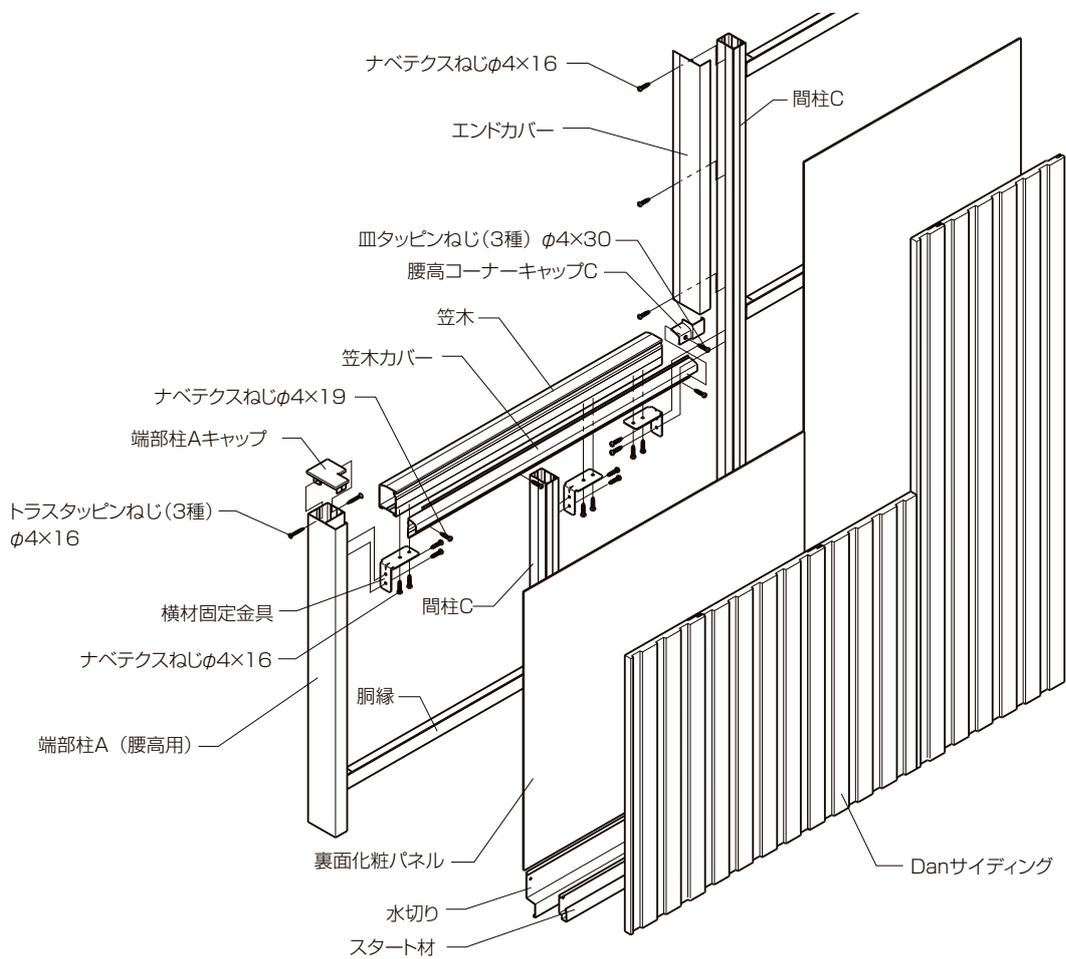
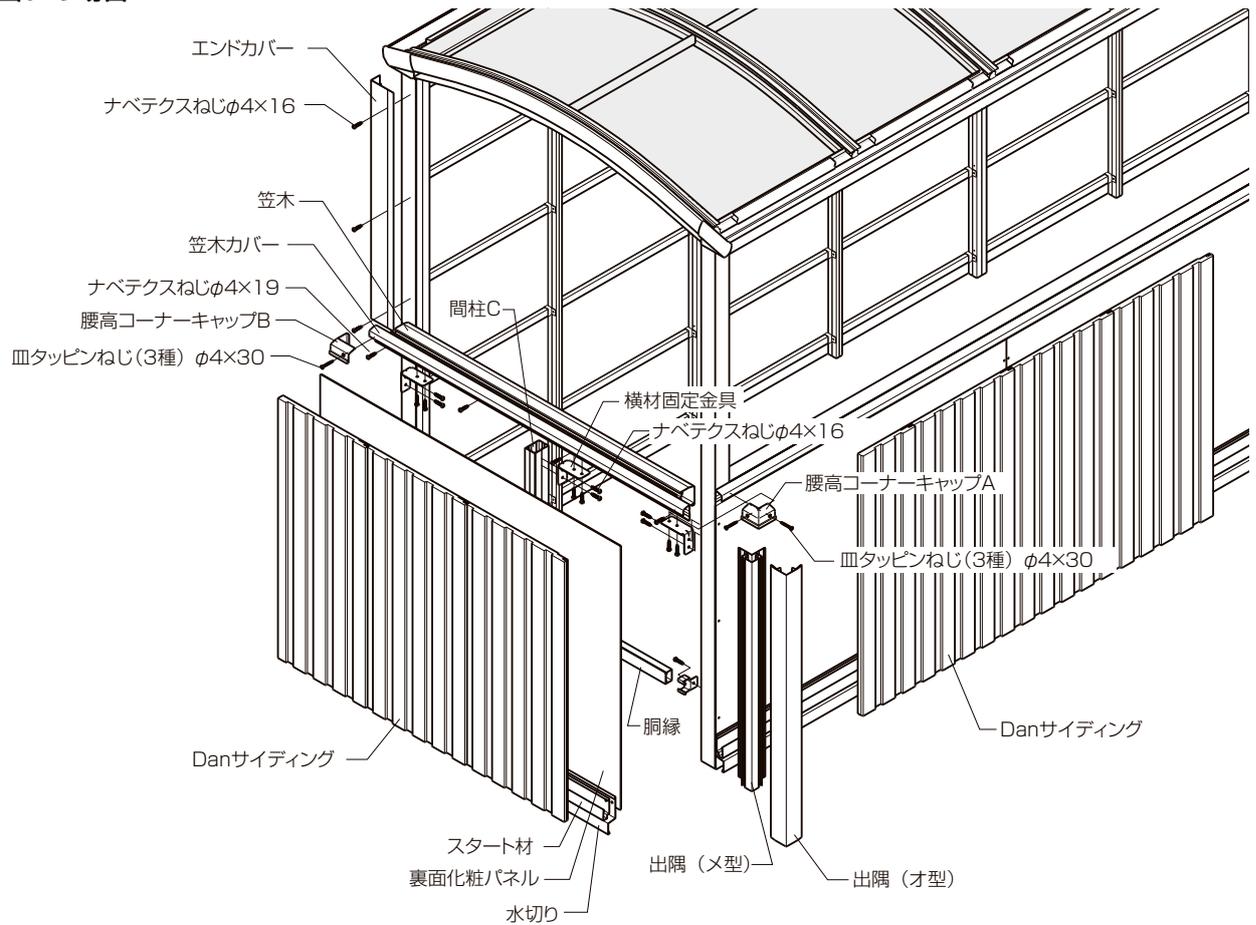
■内観図



■ランマ付の場合

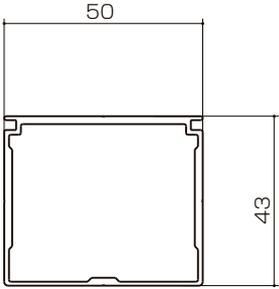
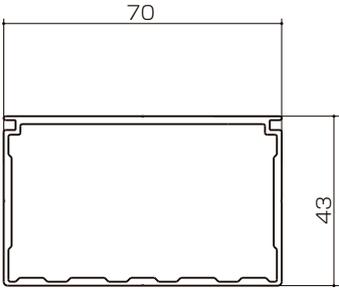
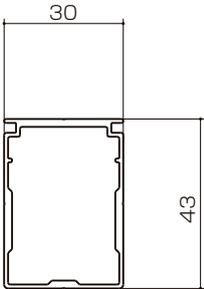
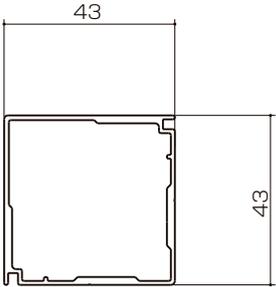
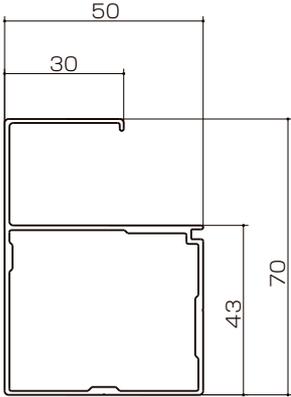
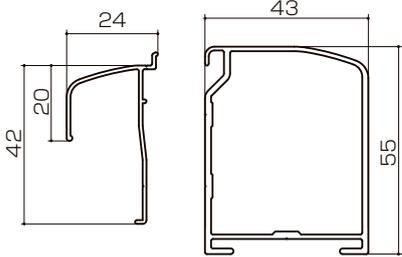
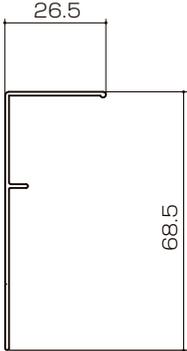
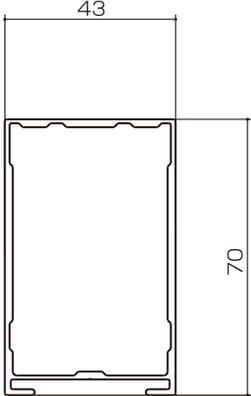
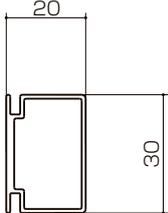


■腰高囲いの場合



使用形材一覧

※太枠内は形材販売あり。

間柱A	間柱B	間柱C
		
コーナー柱	端部柱A	笠木／笠木カバー
		<p>●笠木カバー ●笠木</p>  <p>※笠木・笠木カバーはセット販売となります。</p>
エンドカバー	横材	胴縁
		

設計基準

※サイディングの納まりを施工する際は、下記項目を必ず守ってください。

■柱ピッチ

●柱ピッチは間口方向・長さ方向とも895mm以下にしてください。

■胴縁ピッチ

●サイディング縦張りの場合は455mm以下にしてください。

●サイディング横張りの場合は裏面化粧パネル高さとしてください。

■裏面化粧パネルおよびサイディングについて

●裏面化粧パネルは3mm程度の厚さのものを別途現場手配してください。

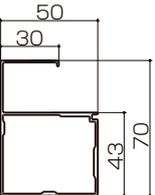
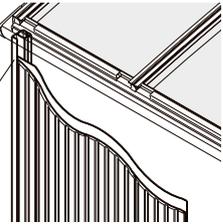
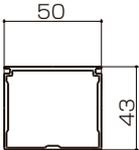
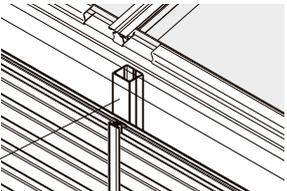
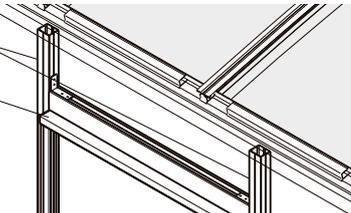
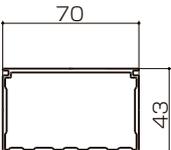
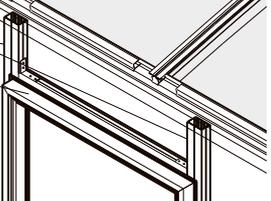
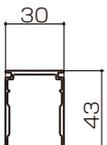
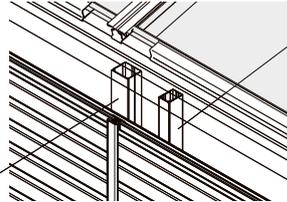
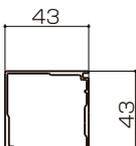
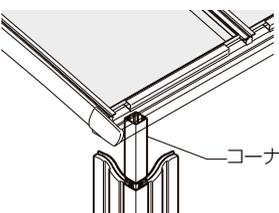
※裏面化粧パネルにはアルポリック（アルミ樹脂複合板）が最適です。

●サイディングは厚さ15mm程度（軒天部材の見込み寸法が24mm以下）の金属サイディングを使用してください。

裏面化粧パネル厚さ	3mm	4mm	5mm
サイディング軒天見込み	24mm以下	23mm以下	22mm以下

柱の使い分け

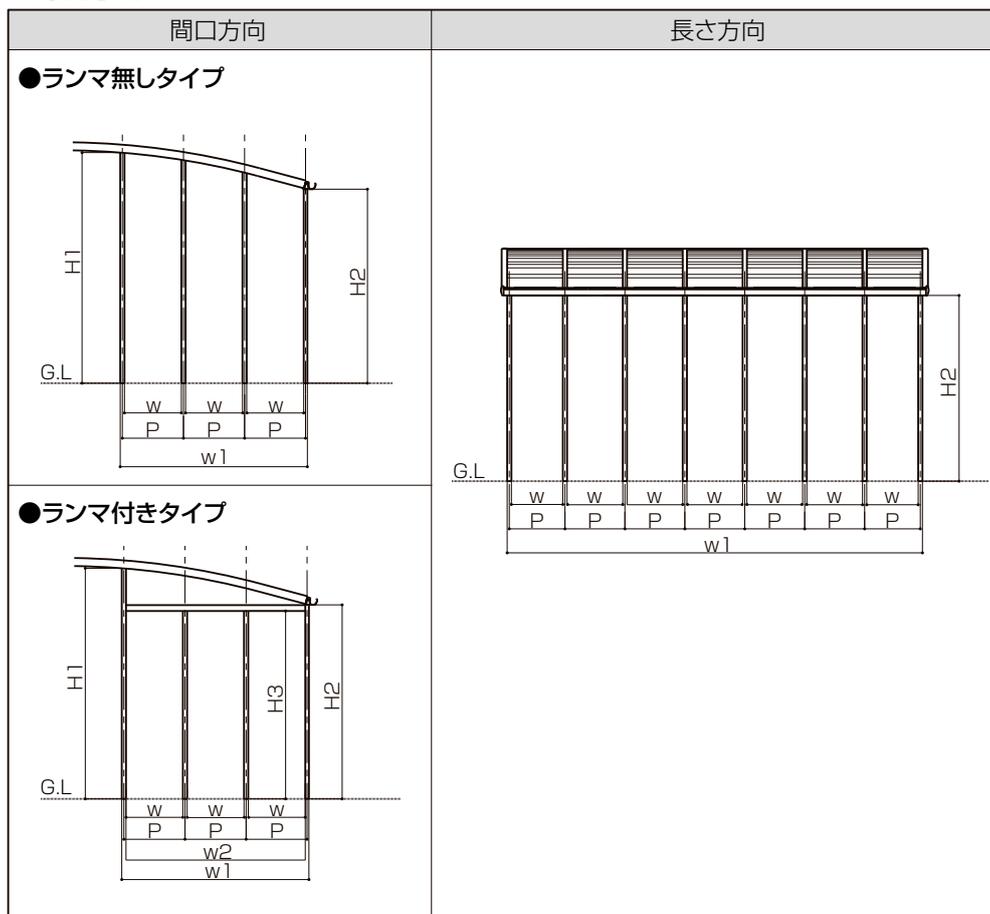
※下表を参考に柱を使い分けてください。

<p>端部柱A</p> 	<p>●端部用</p>  <p>端部柱A</p>
<p>間柱A</p> 	<p>●サイディング連結部用</p>  <p>間柱A</p> <p>●高窓用袖柱</p>  <p>間柱A</p> <p>サッシ枠</p>
<p>間柱B</p> 	<p>●ドア用袖柱</p>  <p>間柱B</p> <p>ドア枠</p>
<p>間柱C</p> 	<p>●中間用</p>  <p>間柱C</p> <p>間柱A</p>
<p>コーナー柱</p> 	<p>●コーナー部用</p>  <p>コーナー柱</p>

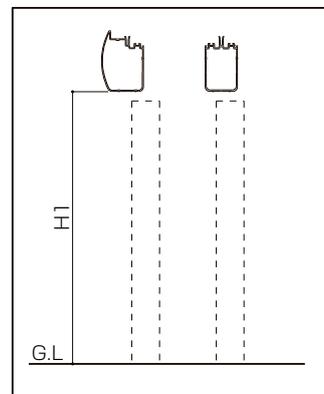
取付け方法

■部材の加工

■切断寸法



H1:図のように取付け位置の垂木下寸法を測定してください。



P:柱ピッチ
w:柱内々寸法
w1:両端柱外々寸法
w2:両端柱内々寸法
H1:側枠(垂木) 下面からG.L.までの高さ
H2:桁下面からG.L.までの高さ
H3:横材下面からG.L.までの高さ

部材名		切断寸法L		
		使用箇所		
		H1	H2	H3
端部柱A				
端部柱B				
間柱A	柱埋込み仕様	H1-315	2603(2903)	2533(2833)
間柱B				
間柱C	柱直付け仕様	H1-15	2303(2603)	2233(2533)
コーナー柱				
横材		w2		
胴縁		w-10		
軒天		w1-30 ※1		
水切り		w1-30		
スタートA(横張り用)		w1-30		
スタートC(縦張り用)		w1-30		
出隅オ型		コーナー柱切断寸法-69		
出隅メ型		コーナー柱切断寸法-153		
連結Aオ型		間柱A(B) 切断寸法-69		
連結Aメ型		間柱A(B) 切断寸法-153		

※上記出隅・連結部材の切断寸法は、柱直付け仕様の場合を示します。柱埋込みの場合は、上記寸法-300としてください。

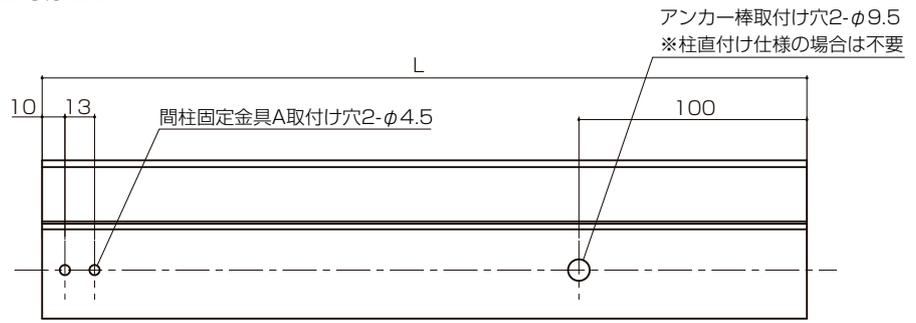
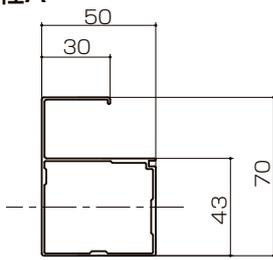
※フラット屋根仕様の場合、端部垂木下への軒天取付けは必要ありません。(ただし、中間垂木下への取付けの場合は必要となります。)

※〔 〕内数値は本体フレームロング柱(H26)仕様の場合を示します。

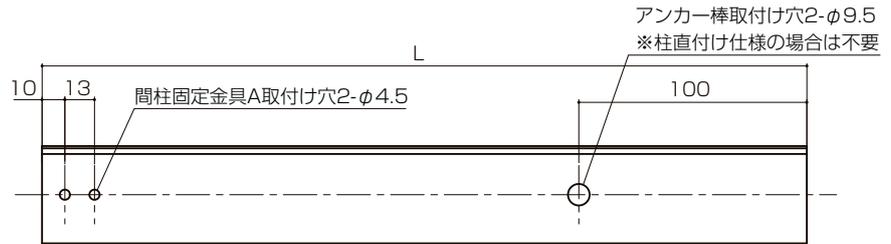
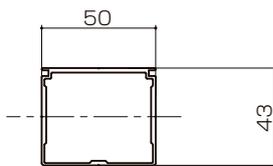
※1間口方向ランマ無しタイプの場合は若干長め(上記軒天寸法の1.02倍程度)に切断し、曲げ加工後長さを合わせて切詰めてください。

※図の穴位置は桁下に取り付けの場合の加工を示します。垂木下に取り付けの穴位置は『柱の加工 (P.20) 』を参照してください。
 ※本図は内観左用を示し、右用は本図と対称とします。

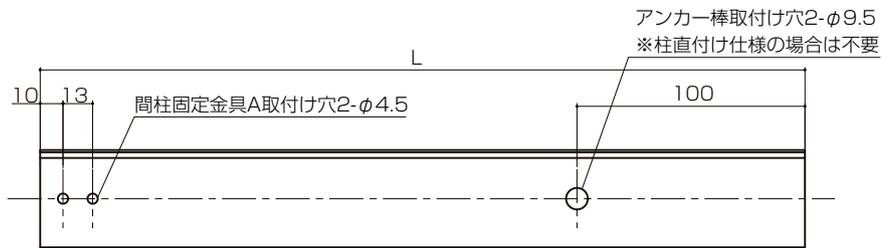
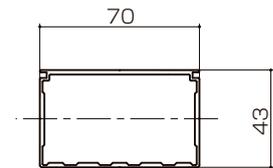
●端部柱A



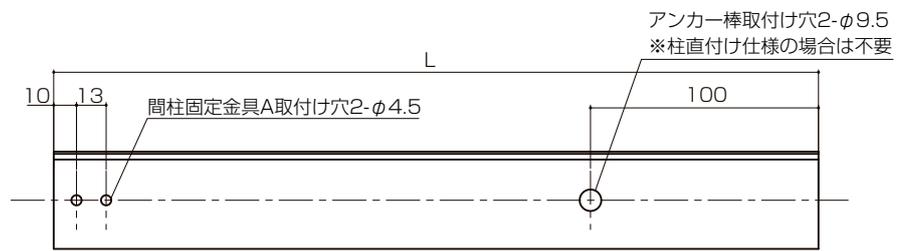
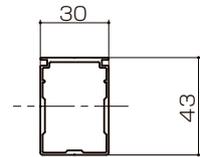
●間柱A



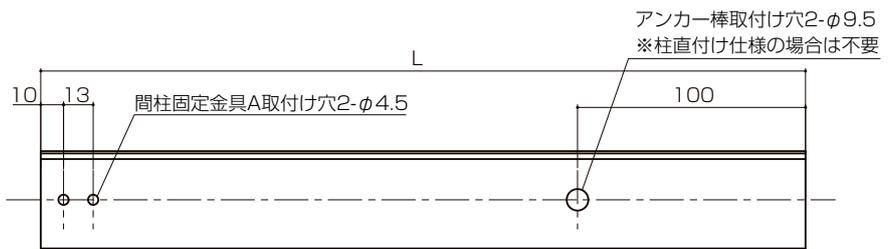
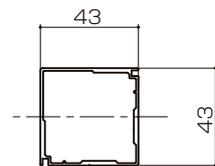
●間柱B



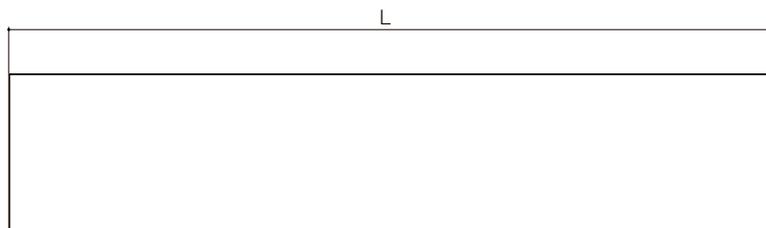
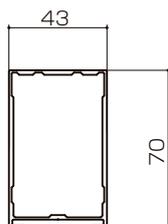
●間柱C



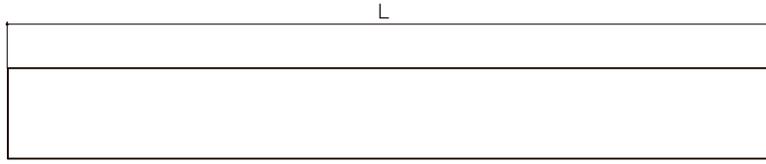
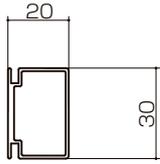
●コーナー柱



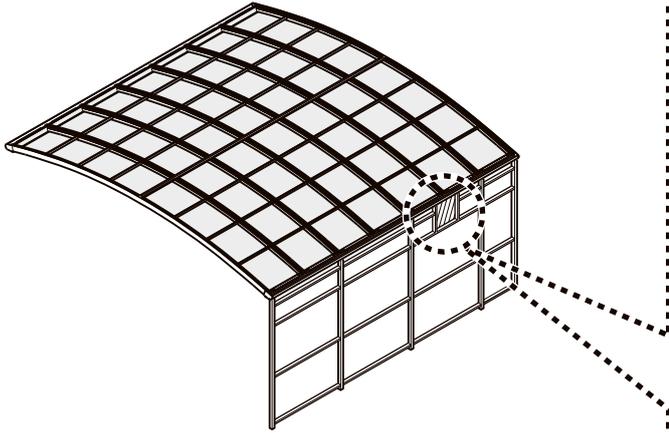
●横材



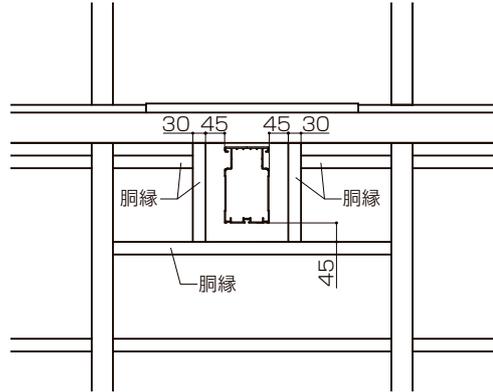
● 胴縁



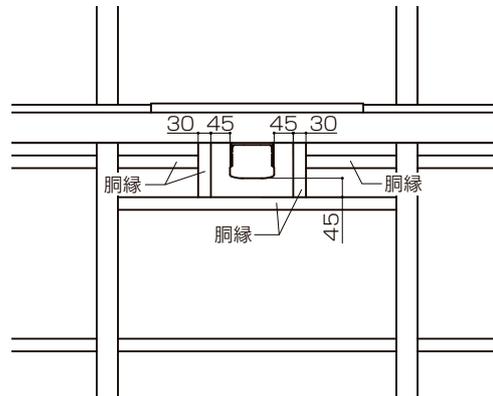
※置き式はりなどの干渉部周り



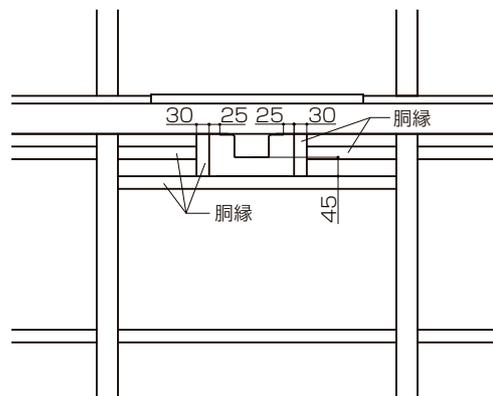
●置き式はり周り



●横どい周り

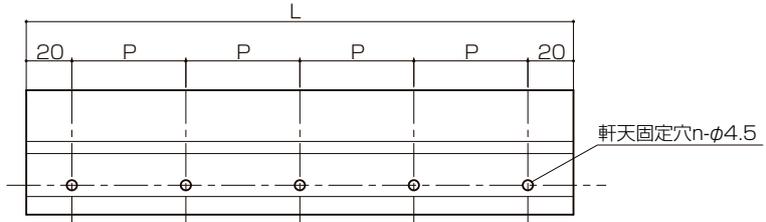
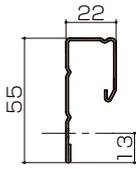


●補強ポール固定金具周り



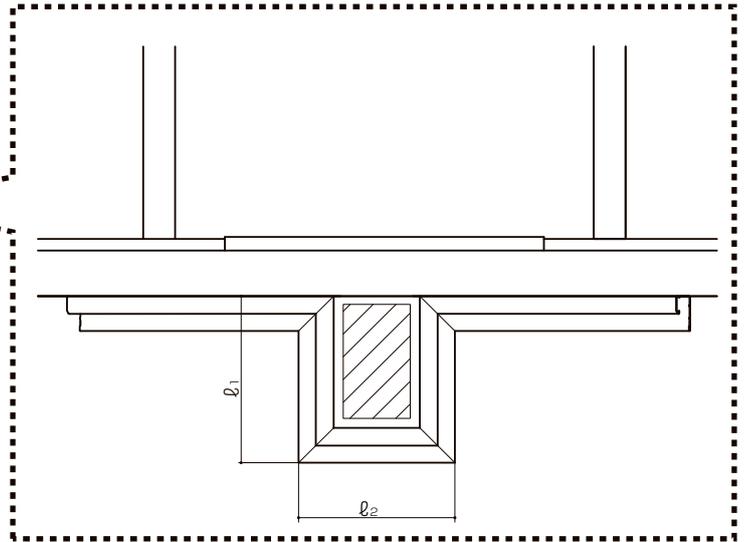
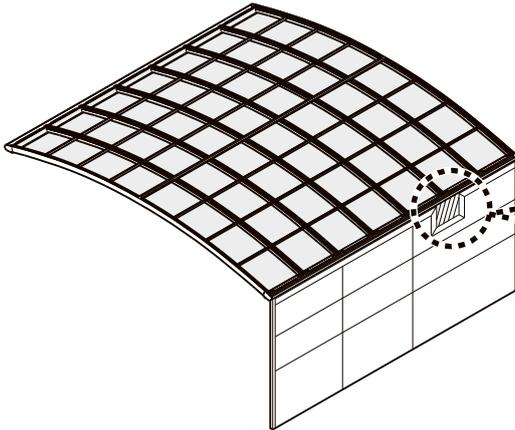
■サイディング役物

●軒天



※P:600以内 (長さ方向、間口方向ランマ付の場合)
柱ピッチ (間口方向ランマ無しの場合)

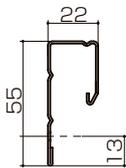
※置き式はりなどの干渉部周り



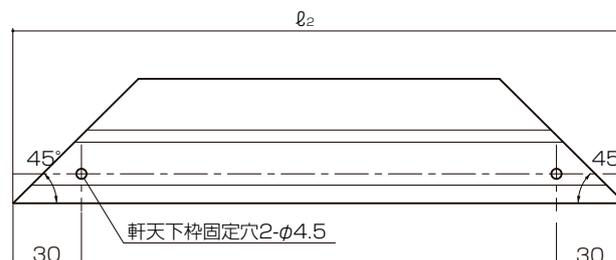
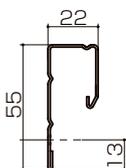
l_1	置き式はり周り縦枠	263
	横どい周り縦枠	158 (191)
	補強ポール周り縦枠	129
l_2	置き式はり周り下枠	252
	横どい周り下枠	251
	補強ポール周り下枠	257

※数値は横どい周り水こう配上取付け時寸法を示し、
() 内数値は横どい水こう配下取付け時を示します。

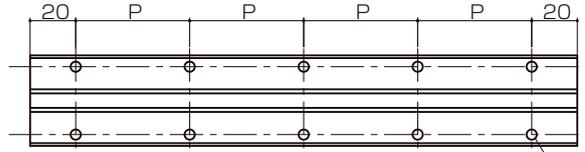
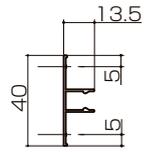
●軒天縦枠



●軒天下枠

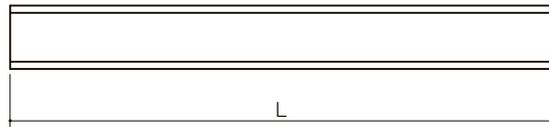


●連結A×型

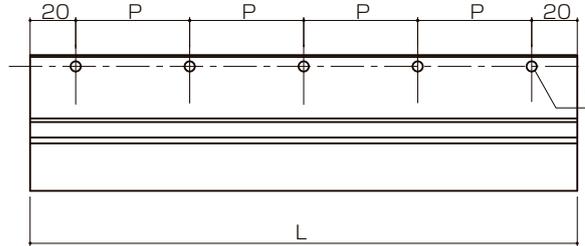
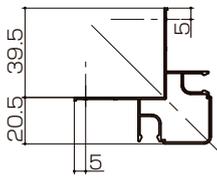


連結A×型固定穴n-φ4.5

●連結A才型

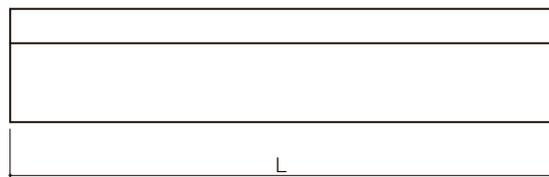
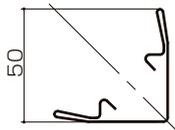


●出隅×型



出隅×型固定穴n-φ4.5

●出隅才型

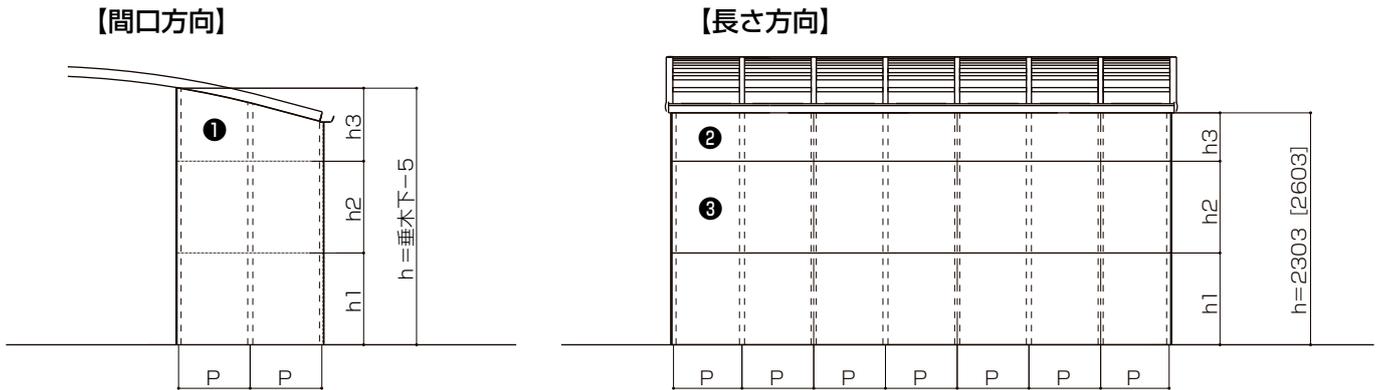


※P≤600

■裏面化粧パネル（現場手配）

※図はパネルサイズが910×1820の場合の割付け図です。

※ [] 内数値は本体フレームロング柱（H26）仕様の場合です。



●P：柱ピッチ

●h1、h2（裏面化粧パネル高さ）：任意

●h3：h-h1-h2

●w（裏面化粧パネル幅）：n×P（上記割付けの場合2P）

※ただし、パネルエンド側はw+20としてください。（両側パネルエンドの場合はw+40）

※裏面化粧パネルは厚さ3～5mmのものを現場手配してください。

※裏面化粧パネルにはアルポリック板（アルミ樹脂複合板）が最適です。

※固定位置はパネルエンド側で端から30mm、パネル継目で端から10mm（下図参照）を目安としてください。

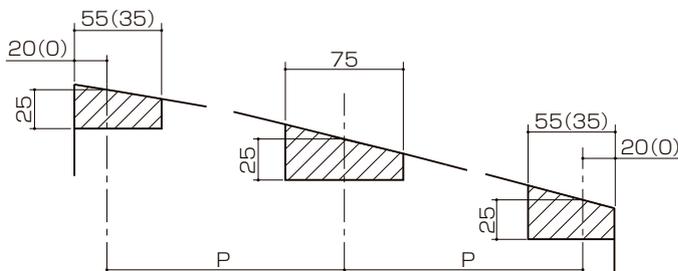
※間口方向最上段のパネルは、下図①にしたがってパネルを切欠いてください。

※ランマ付きの場合は最上段パネル「h3」は「h3-5mm」としてください。『幅方向納まり図（P.40）』参照

〈パネル加工例〉

■パネルの切欠き

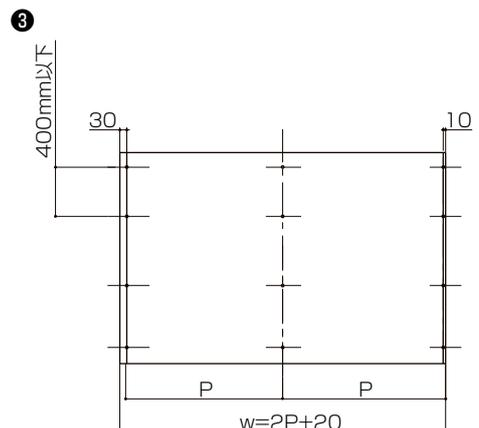
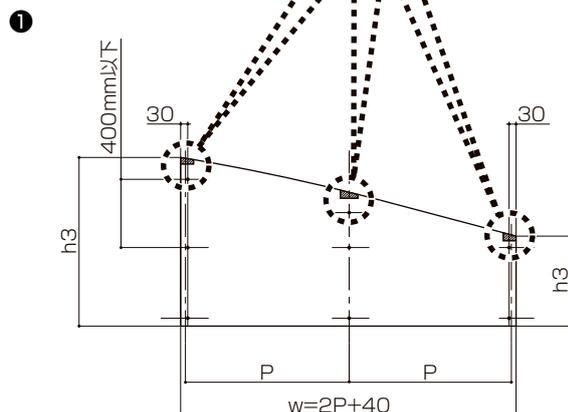
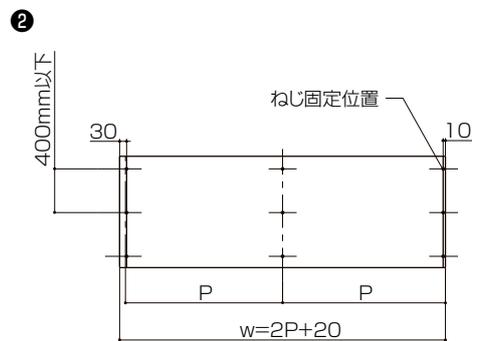
●間柱固定金具との干渉をさけるため、パネルを切欠きます。



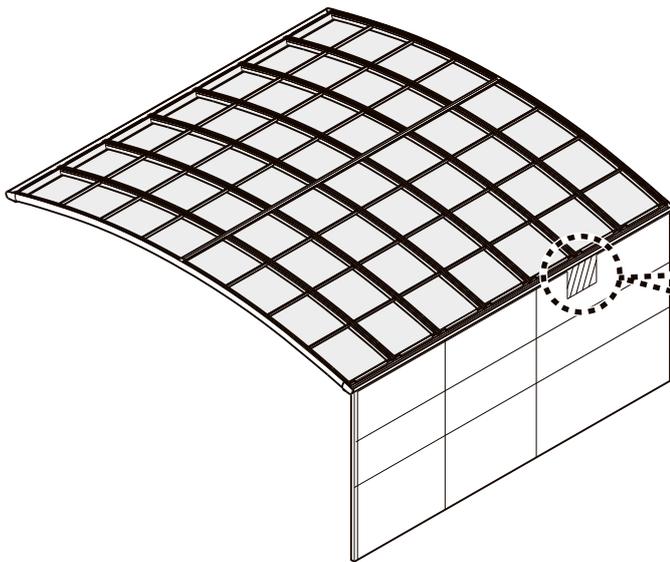
※P：柱ピッチ

※数値はパネルエンドの場合を示します。

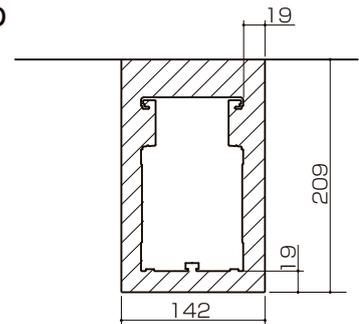
（ ）内数値は継目側の場合を示します。



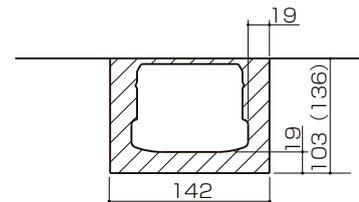
※置き式はりなどの干渉部周り



●置き式はり周り

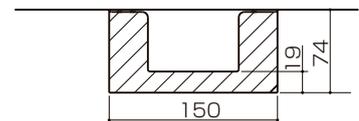


●横どい周り

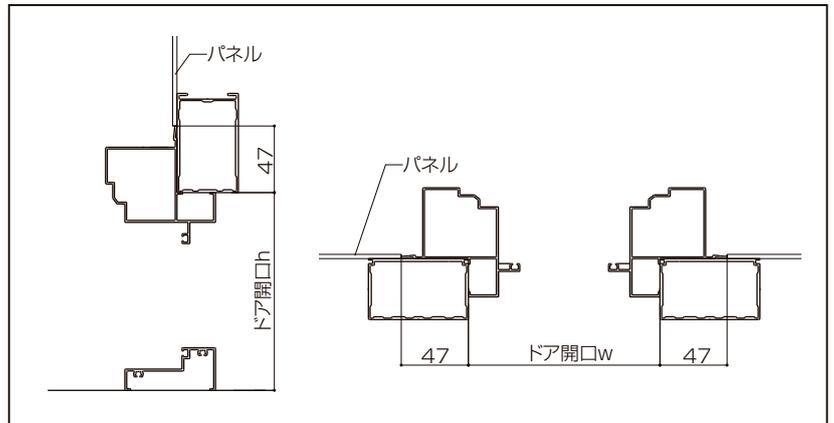
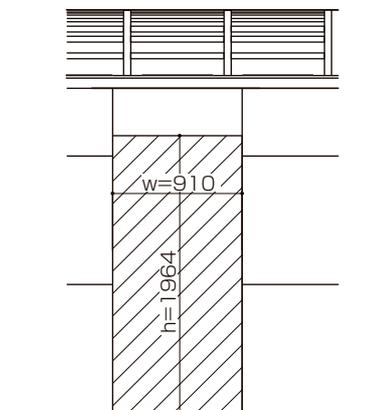


※数値は横どい水こう配上取付け時の寸法 () 内は横どい水こう配下取付け時の寸法を示します。

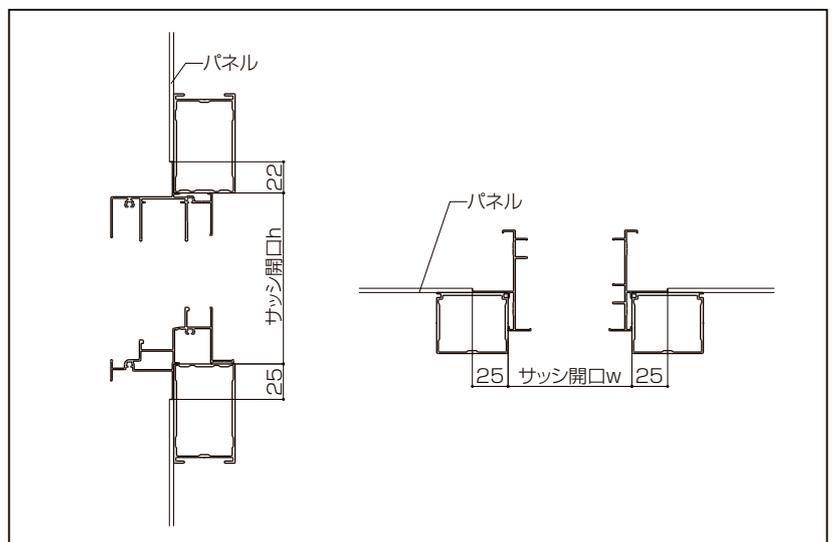
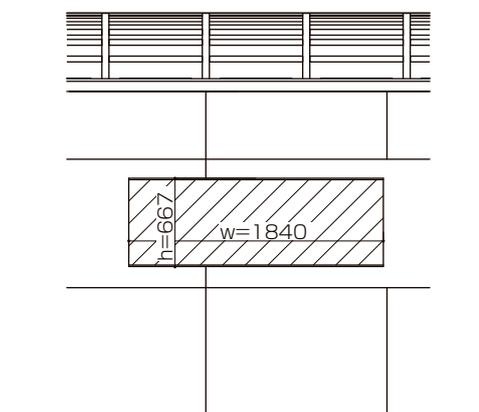
●補強ポール周り



●クリアガラスドア半外付片開き使用時の例



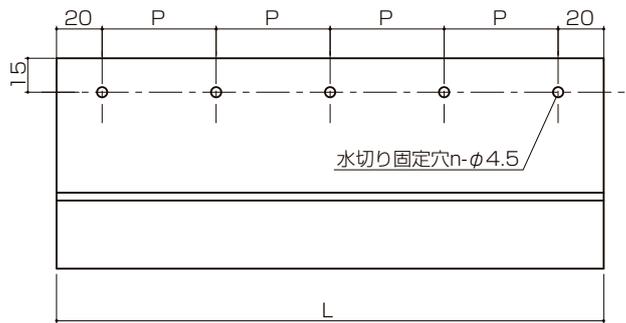
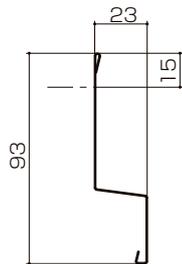
●フリーヤード用高窓1.0間用使用時の例



※サッシ・ドア開口部のパネル加工は開口部に合わせてパネルを配置し、調整又は切欠いてください。

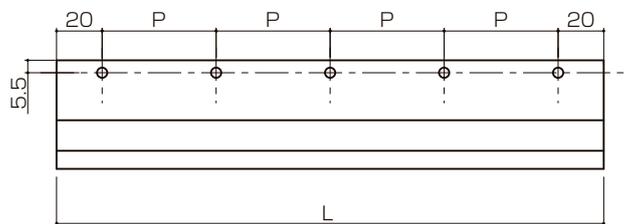
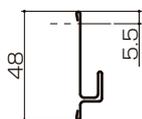
■水切り部

●水切り

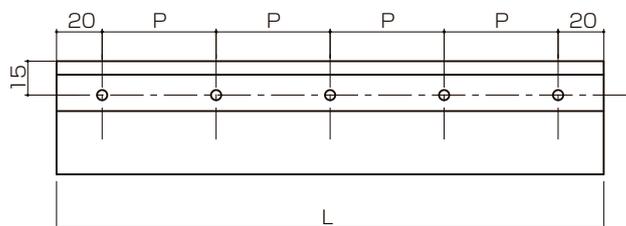
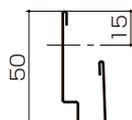


※図は土台連結水切り23の加工例を示します。

●スタートA (横張り用)



●スタートC (縦張り用)

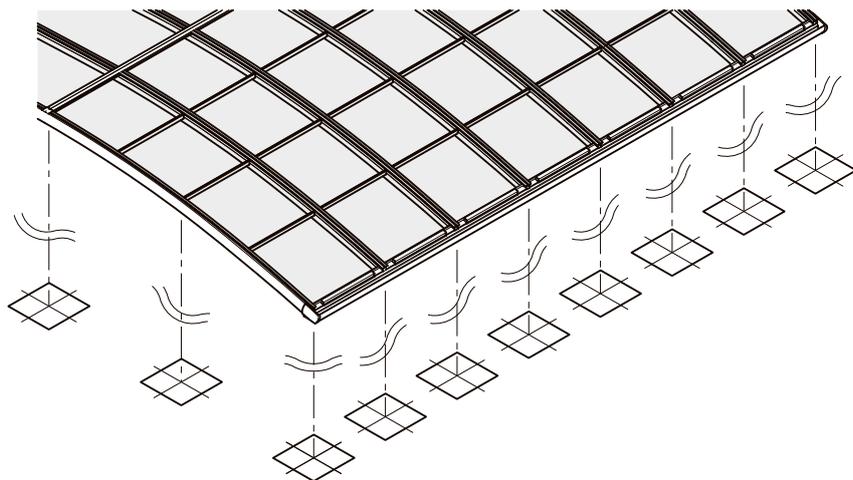


※P≦600

■取付け順序

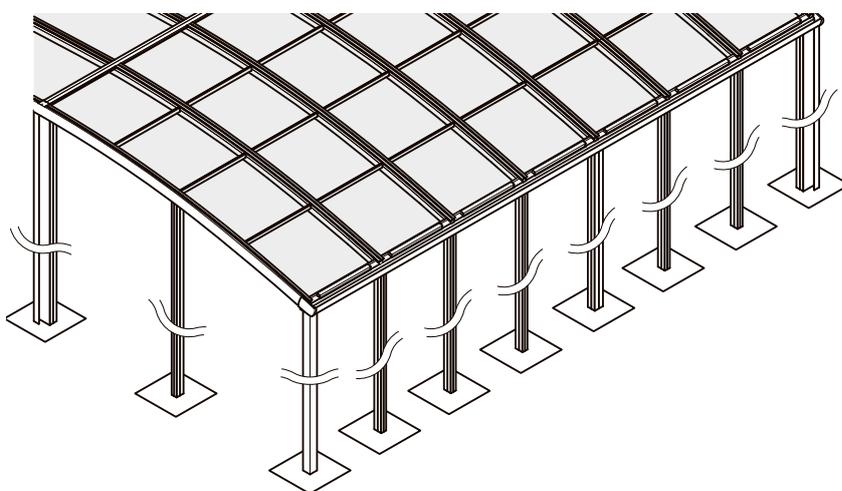
1 柱の位置出し

※「1 柱の位置出し (P.19)」を参照



2 柱の取付け

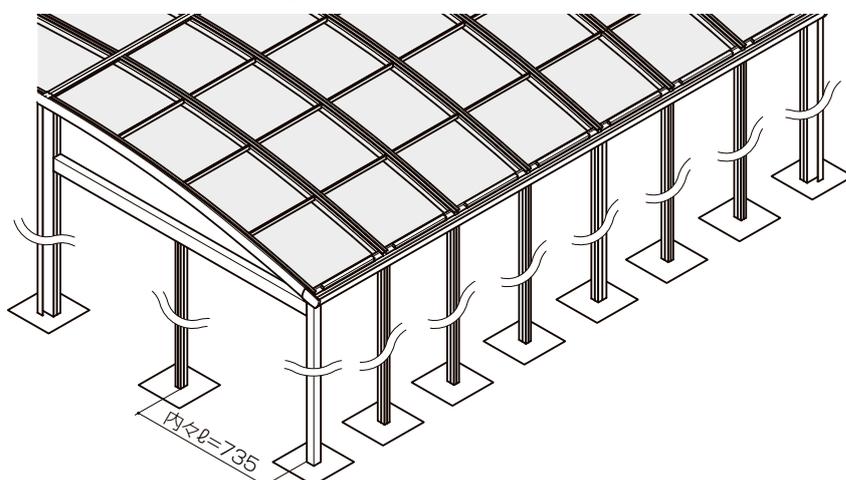
※「2 柱の取付け (P.19~20)」を参照



3 横材の取付け

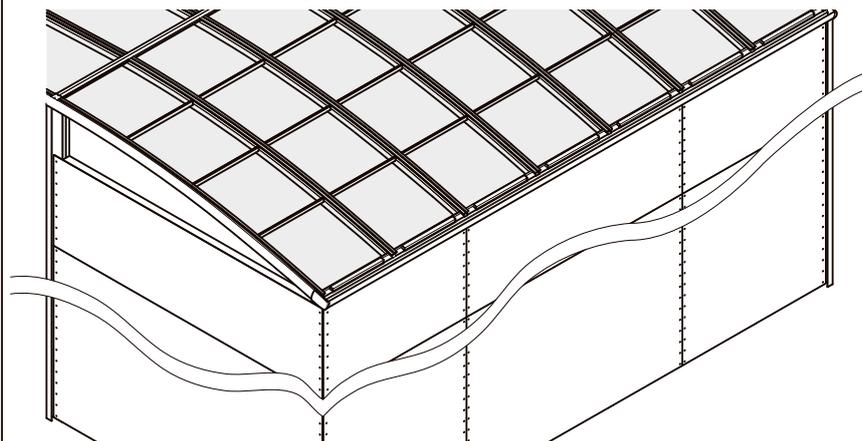
(ランマ付きタイプの場合)

※「3 横材の取付け (P.21)」を参照



4 裏面化粧パネルの取付け

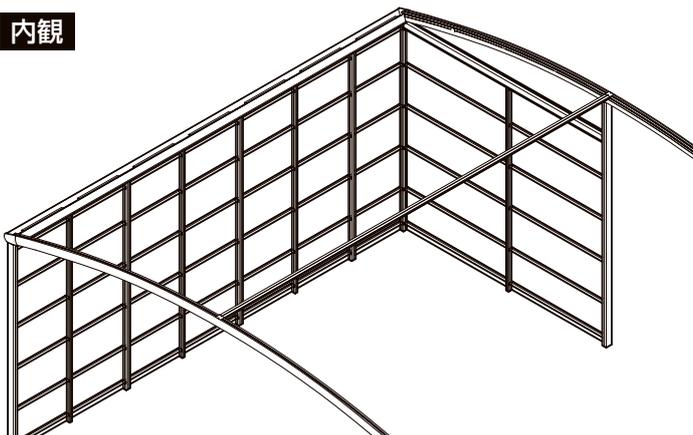
※「4 裏面化粧パネルの取付け (P.21)」を参照



5 胴縁の取付け

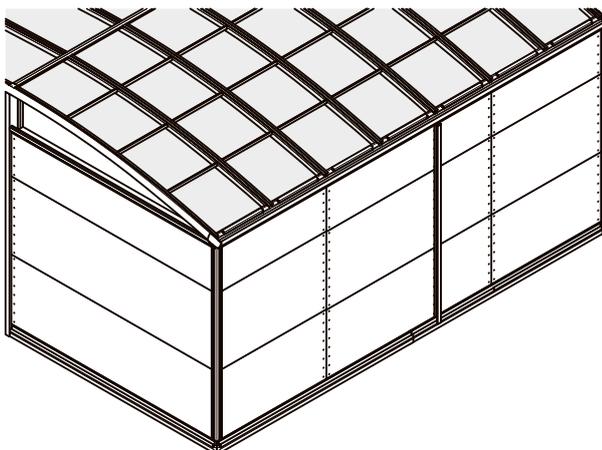
※ 『**5** 胴縁の取付け (P.22) 』を参照

内観



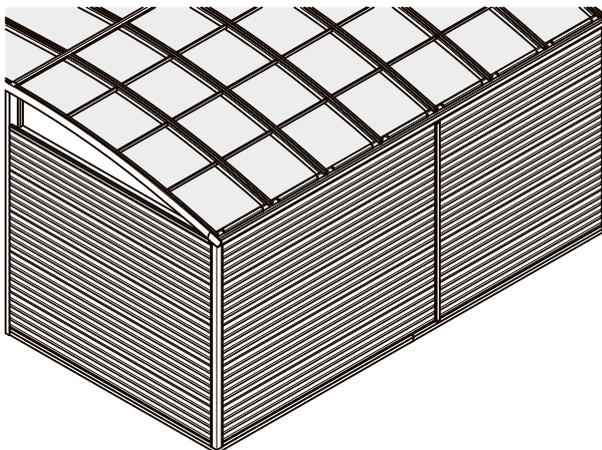
6 サイディング役物の取付け

※ 『**6** サイディング役物の取付け (P.23 ~25) 』を参照



7 サイディングの取付け

※ 『**7** サイディングの取付け (P.26) 』を参照



8 雨どいアタッチメントの取付け

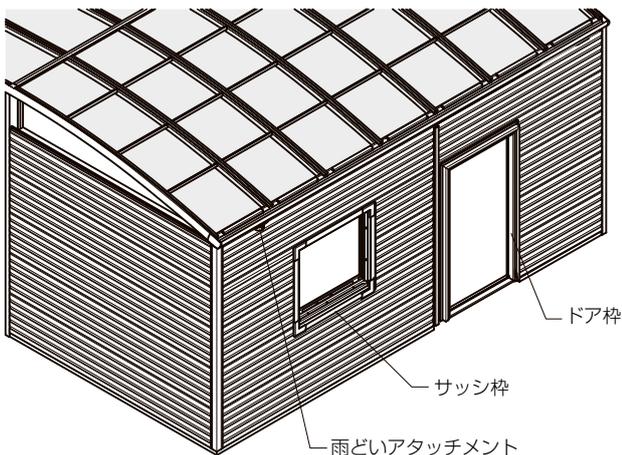
※ 『**8** 雨どいアタッチメントの取付け (P.27) 』を参照

■ サッシの取付け

※ 『■ サッシの取付け (P.33 ~35) 』を参照

■ ドアの取付け

※ 『■ ドアの取付け (P.36~38) 』を参照



■取付け詳細

1 柱の位置出し

①柱の固定位置を出します。

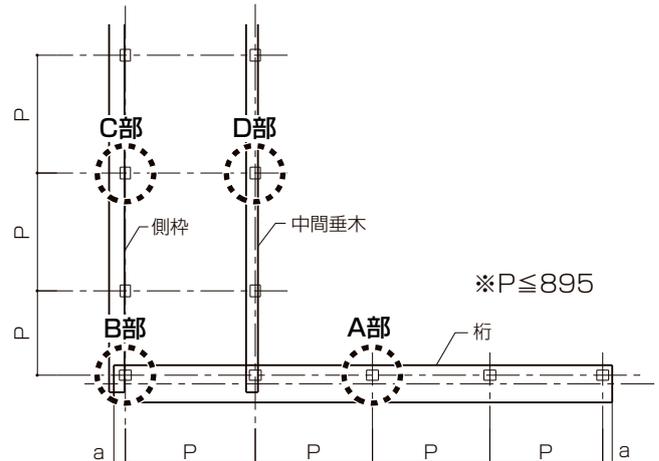
※柱の位置については右図と『納まり図 (P.39)』を参考にしてください。

※ドア・サッシの取付けのときは柱ピッチが変更になります。詳細は『■サッシの取付け (P.33)』および『■ドアの取付け (P.36)』を参照してください。

【a寸法】

柱種類	a寸法
端部柱A	36以上
コーナー柱	44

※数値は側枠下囲いの場合のa寸法を示します。



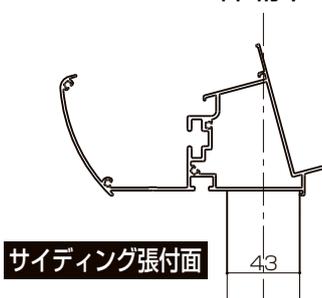
■各部詳細図

A部：桁下

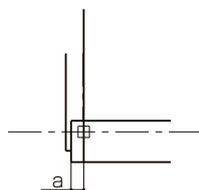
B部：桁下（コーナー部）

C部：側枠下

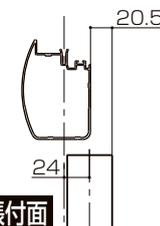
D部：中間垂木下



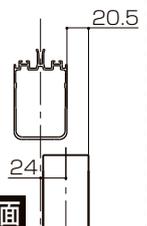
サイディング張付面



サイディング張付面



サイディング張付面



2 柱の取付け

■桁下への取付け

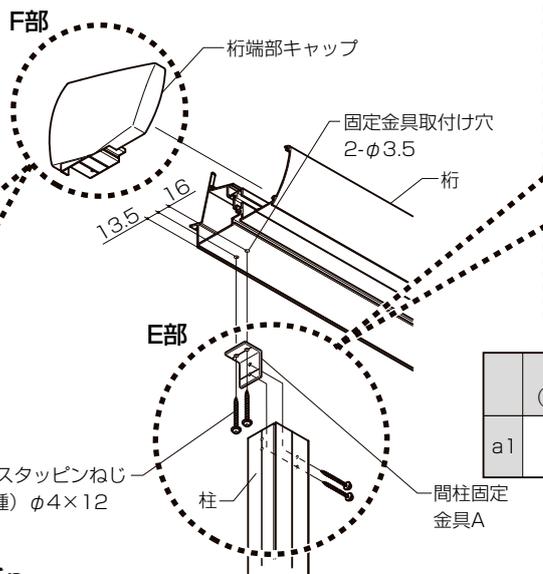
①桁下にφ3.5柱取付け穴をあけます。

②桁下に間柱固定金具Aを取付けます。

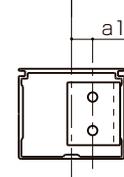
③柱を差込み固定します。

※桁端部に柱取付けの際は桁端部キャップとの干渉をさけるため下図のように端部キャップを切欠いてください。

■F部詳細図



■E部詳細図 【平面図】



	間柱A (端部柱A)	間柱B	間柱C	コーナー柱
a1	10mm	20mm	0mm	6.5mm

※各間柱間の金具取付けピッチp



柱1 \ 柱2	間柱A (端部柱A)	間柱B	間柱C	コーナー柱
間柱A (端部柱A)	P(P+20)	P-10(P+30)	P+10(P+10)	P+3.5(P+19.5)
間柱B	P+10(P+30)	P(P+40)	P+20(P+20)	P+13.5(P+26.5)
間柱C	P-10(P+10)	P-20(P+20)	P(P)	P-6.5(P+6.5)
コーナー柱	P-3.5(P+16.5)	P-13.5(P+26.5)	P+6.5(P+6.5)	P(P+13)

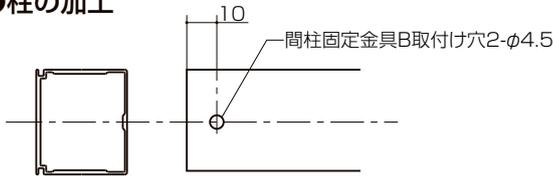
※P：柱ピッチ

※ () 内寸法は固定金具を対称に取付けた場合のピッチを示します。

■間口方向への取付け

- ①間柱固定金具Bを柱に仮固定します。
 - ②垂木下固定位置に合せ、写し穴(φ3.5)をあけます。
 - ③一度柱を外し、間柱固定金具Bを垂木に固定します。
 - ④柱を垂木下に固定します。
- ※フラット屋根仕様端部垂木下へ取付けの場合は間柱固定金具Bを柱に固定し、そのまま垂木下へ取付けてください。

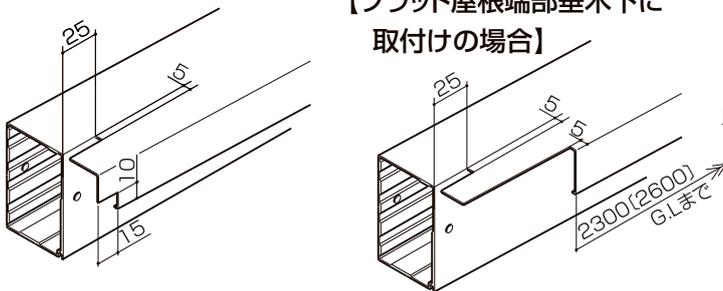
●柱の加工



【端部柱A使用の場合】

- 下図にしたがって間柱固定金具Bとの干渉部を切欠いてください。

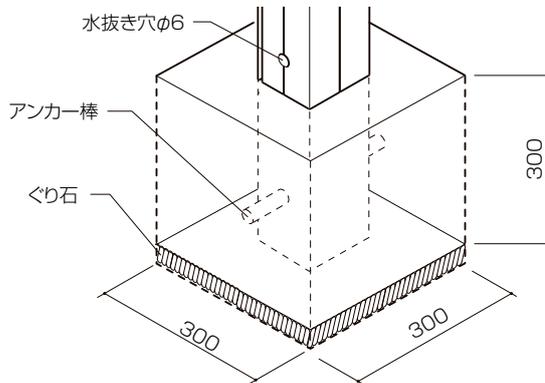
【フラット屋根端部垂木下に取付けの場合】



■柱基礎

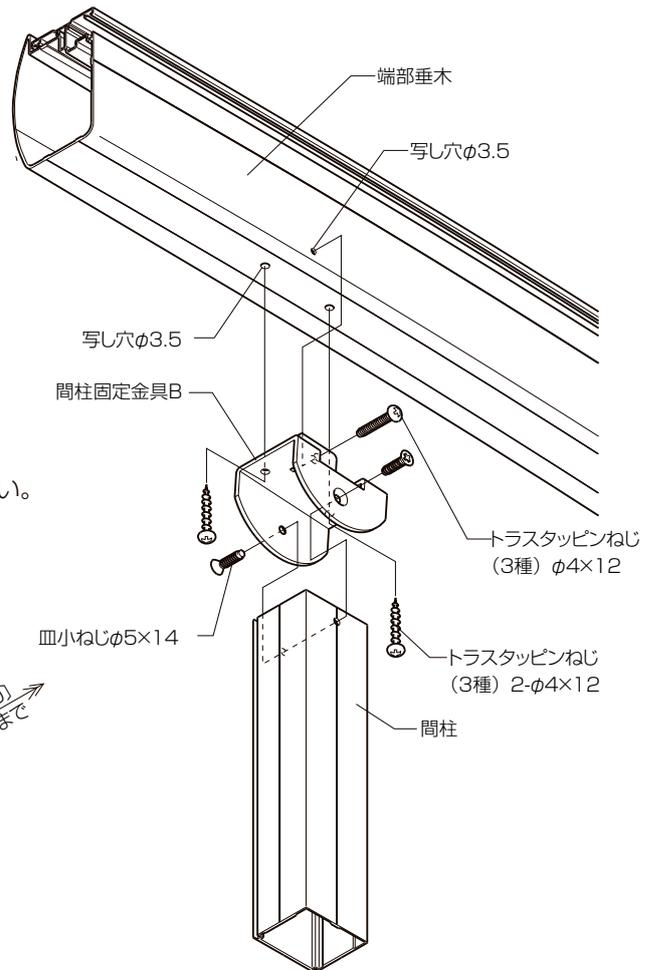
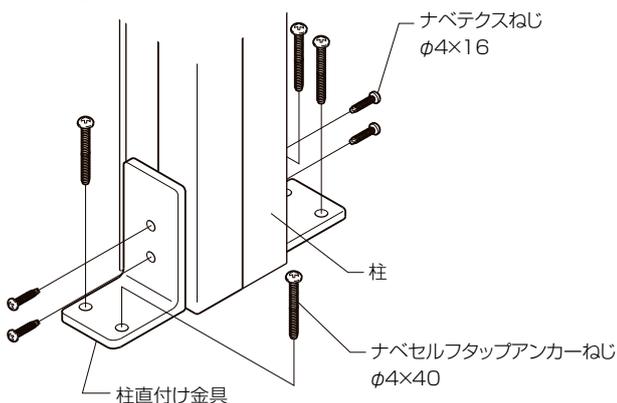
【埋込みの場合】

- ①下部にアンカー棒取付け後、基礎に埋込んでください。その際、必ずぐり石を敷き、柱内の水抜きができるようにしてください。又柱と基礎の付根のところにも水抜き穴(φ6位)をあけておいてください。



【直付けの場合】

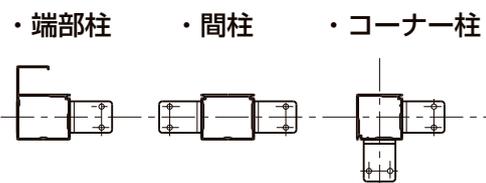
- ②柱直付け金具で地面に固定します。



▲注意

- 地下埋設物(配水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- コンクリート(又はモルタル)に急結材は使用しないでください。
- 海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。

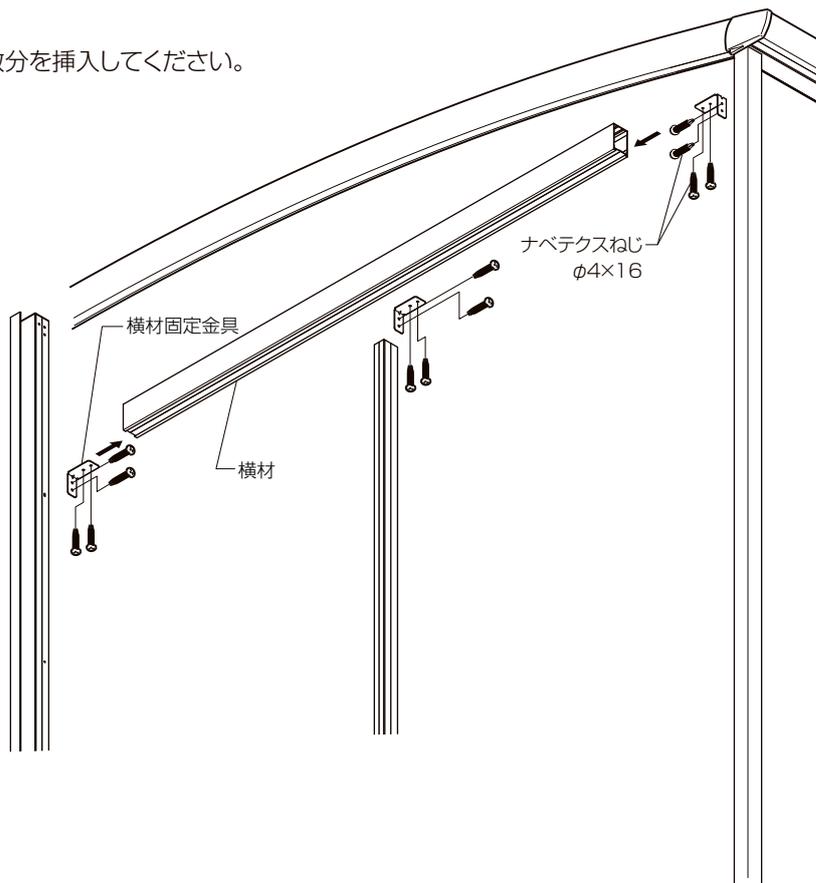
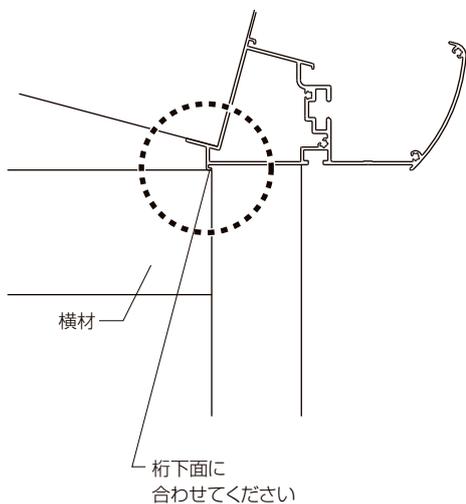
※直付け金具固定位置



3 横材の取付け

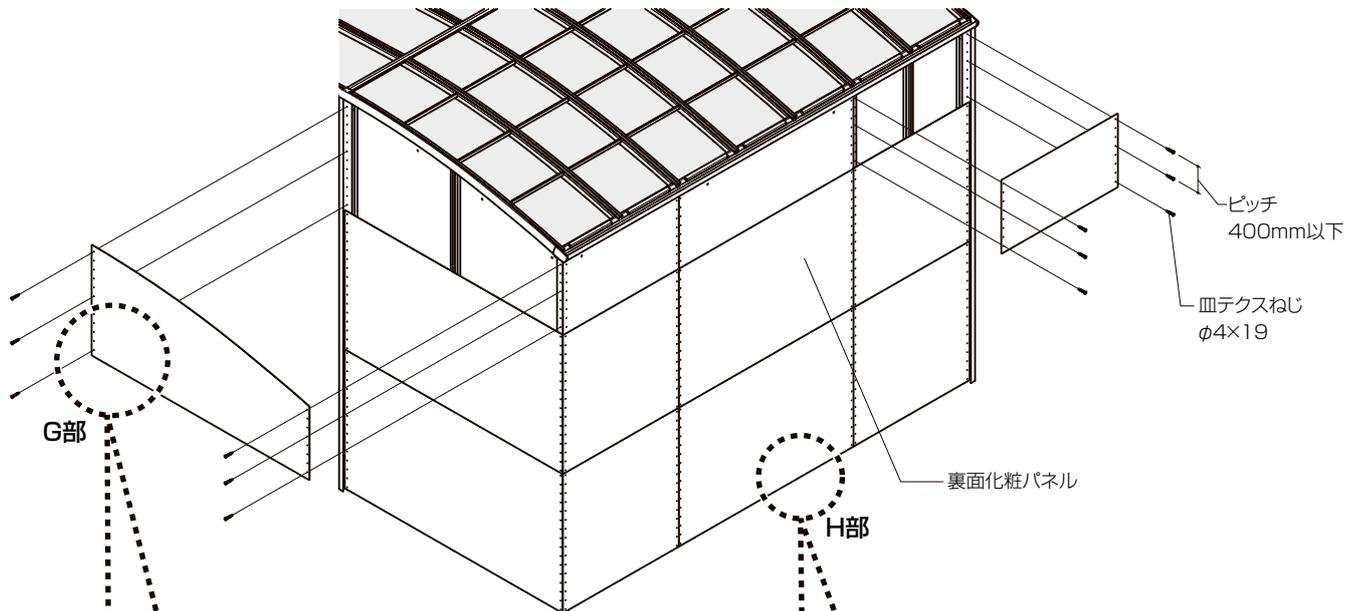
- ①横材固定金具を横材に挿入します。
※金具の個数は両端2個と横材に取付ける柱本数分を挿入してください。
- ②横材を固定位置（下図参照）に合わせます。
- ③横材下面に柱を取付けます。

【固定位置】

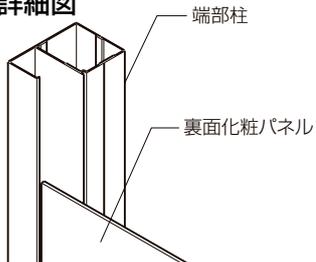


4 裏面化粧パネルの取付け

- 柱に裏面化粧パネルを取付けます。
- ※固定ピッチは400mm以下としてください。
- ※裏面化粧パネルはGL面より2~3mmあけて取付けてください。

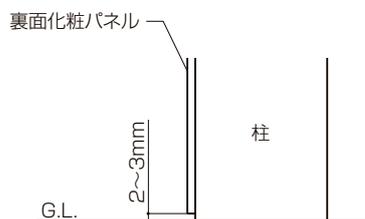


■G部詳細図



※端部は柱にのみ込ませてください。

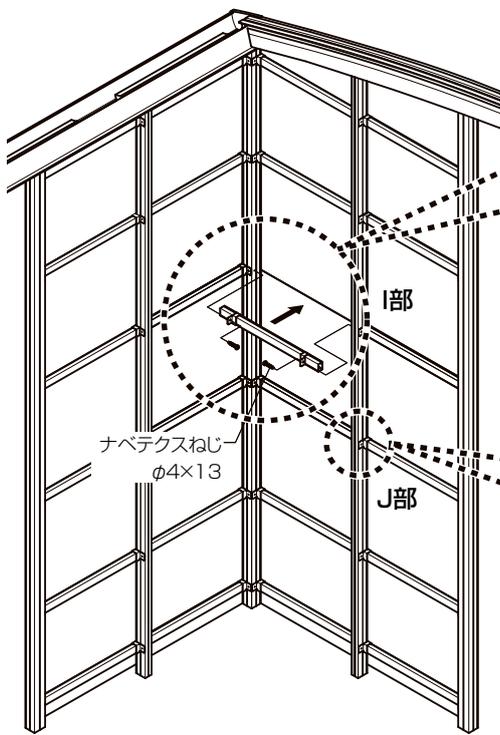
■H部詳細図



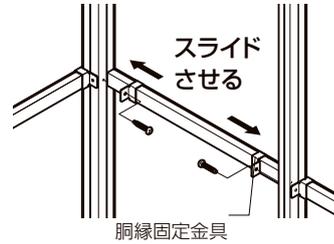
5 胴縁の取付け

・サイディング横張りの場合:裏面化粧パネルの目地を隠すため、部屋内側より柱内々に胴縁を取付けます。
 ・サイディング縦張りの場合:間に1本胴縁を追加し、胴縁ピッチが455mm以下となるように調整してください。

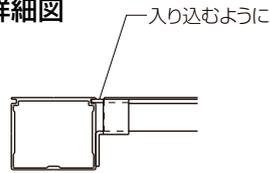
- ① 胴縁固定金具を胴縁の両端に挿入します。
- ② 胴縁を柱内々に入れ高さを合わせます。
- ③ 胴縁固定金具を両端にスライドさせ、柱に固定します。



■I部詳細図

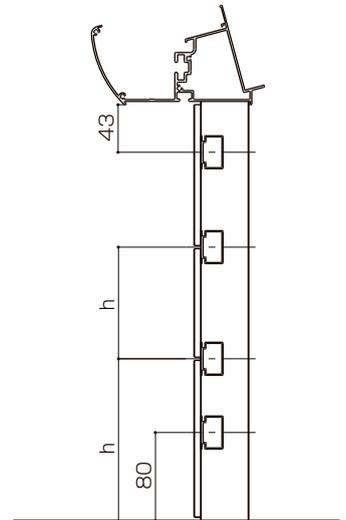


■J部詳細図



※ 胴縁固定金具のフィンが柱の溝に入り込むように取付けてください。

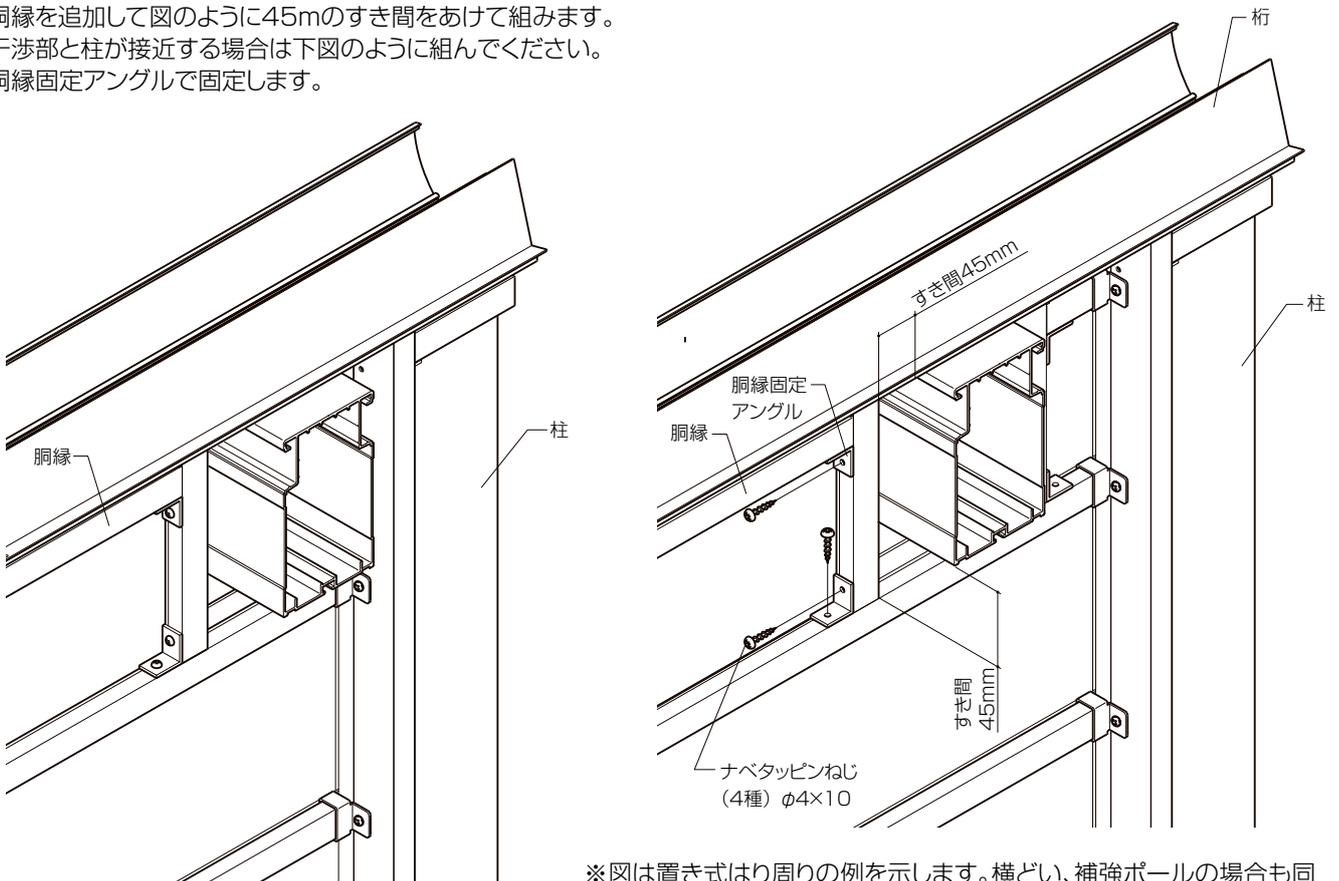
● 胴縁取付け高さ



※ h:裏面化粧パネル高さ

■置き式はりなどの干渉部周りの胴縁の取付け

- ① 干渉部は胴縁で周りを囲います。
- ※ 胴縁を追加して図のように45mmのすき間をあけて組みます。
- ※ 干渉部と柱が接近する場合は下図のように組んでください。
- ② 胴縁固定アングルで固定します。



※ 図は置き式はり周りの例を示します。横どい、補強ポールの場合も同様に胴縁を取付けてください。(P.10参照)

6 サイディング役物の取付け

■軒天の取付け

①軒天材を取付けます。

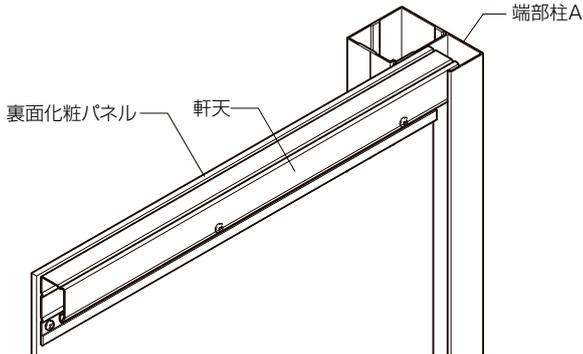
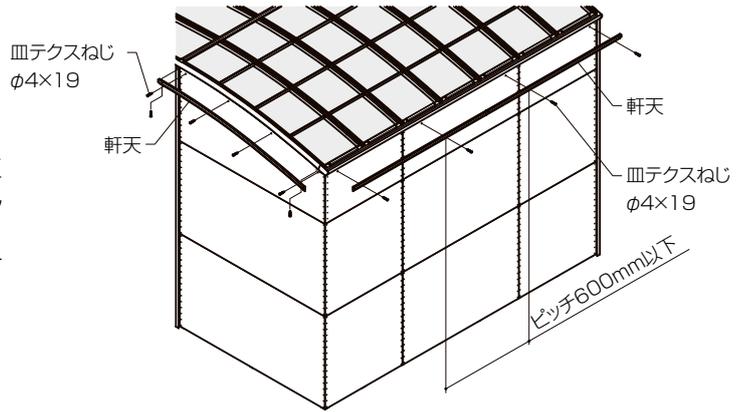
※軒天は裏面化粧パネルを通して胴縁に固定してください。

※間口方向に取付けの際は垂木の曲線に合わせて曲げ加工を行った後、裏面化粧パネルを固定しているねじと干渉しないように注意して柱に固定してください。

※軒天は桁・垂木下面より3mm程度すき間をあけて取付けてください。

※軒天端部は端部柱Aに飲込ませてください。

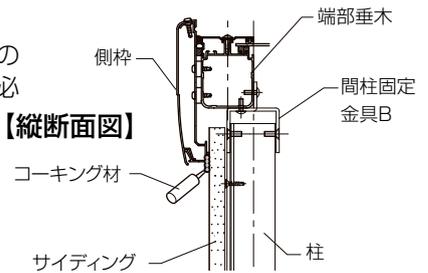
②軒天とのすき間にコーキング材を充てんしてください。



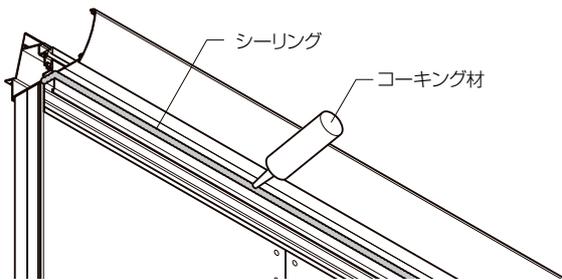
■フラット屋根仕様

※端部垂木下へ取付けの場合、軒天の取付けは必要ありません。

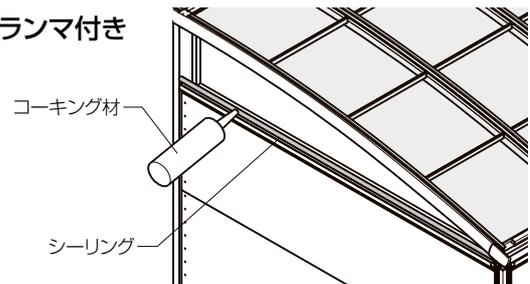
【縦断面図】



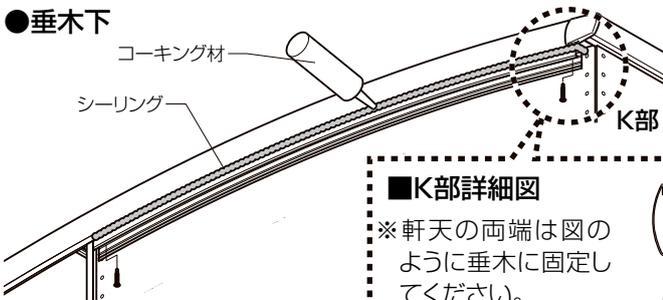
●桁下



●ランマ付き



●垂木下



■K部詳細図

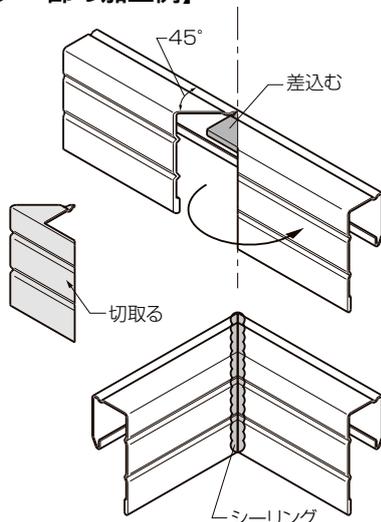
※軒天の両端は図のように垂木に固定してください。



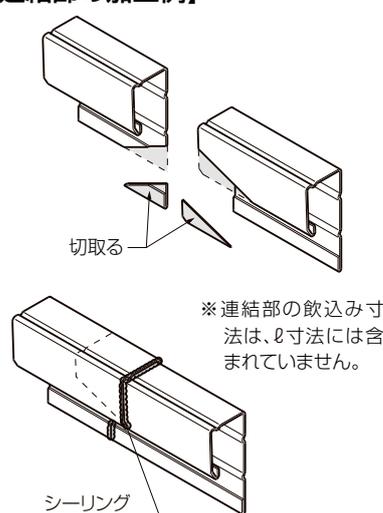
▲注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- 当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコーン トスシール380
- ・東レシリコーン SE960

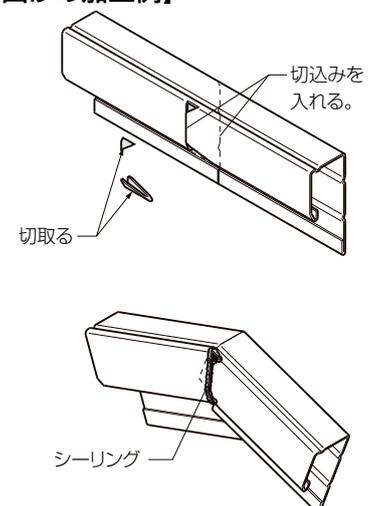
【コーナー部の加工例】



【連結部の加工例】

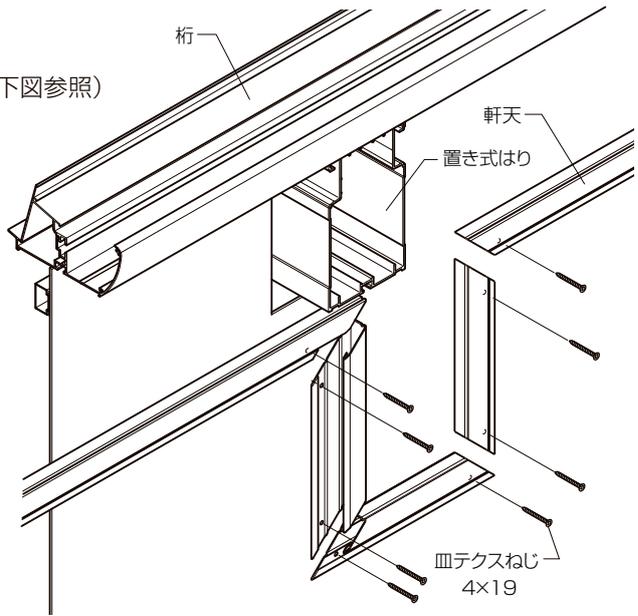
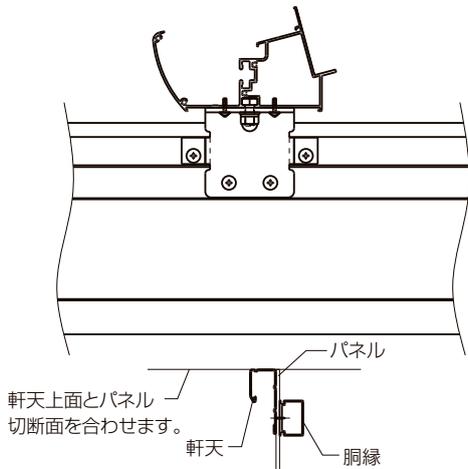


【曲げの加工例】



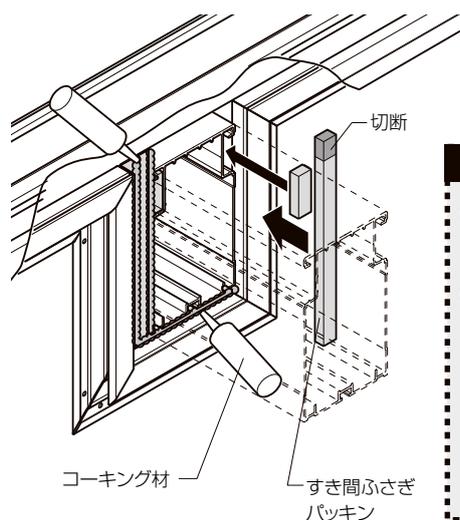
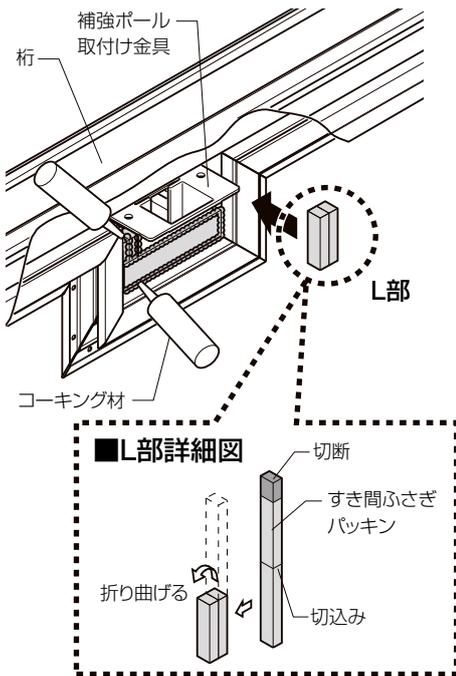
■置き式はりなどの干渉部周りの取付け

- ①軒天は裏面化粧パネルを通して胴縁に取付けます。
 ※軒天は裏面化粧パネルの切欠きに沿って取付けてください。（下図参照）
 ※横どい、補強ポール周りも同様に軒天を取付けます。



【干渉部周りのすき間をふさぐ場合】

- ※干渉部周りのすき間に合わせてすき間ふさぎパッキンを切断し、すき間ふさぎパッキンをすき間に挿入後、コーキング材を充てんしてください。
 ※補強ポール干渉部は下図のようにすき間ふさぎパッキンを折り曲げて挿入してください。

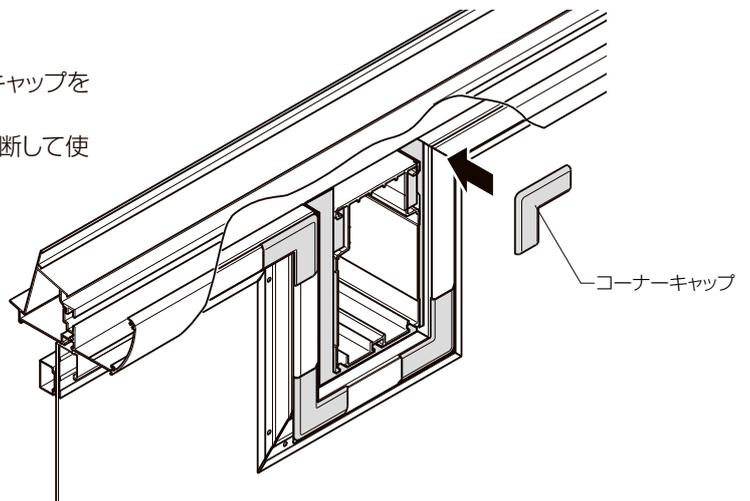
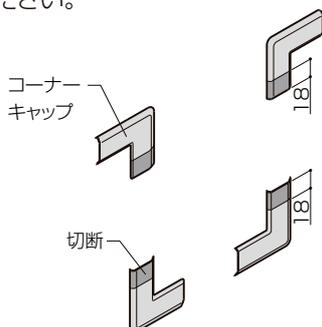


▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- 当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

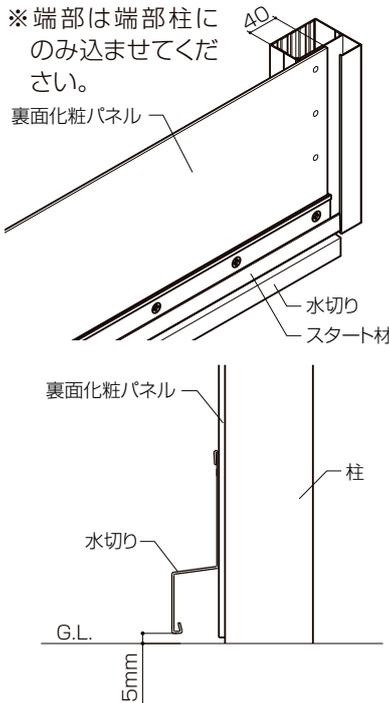
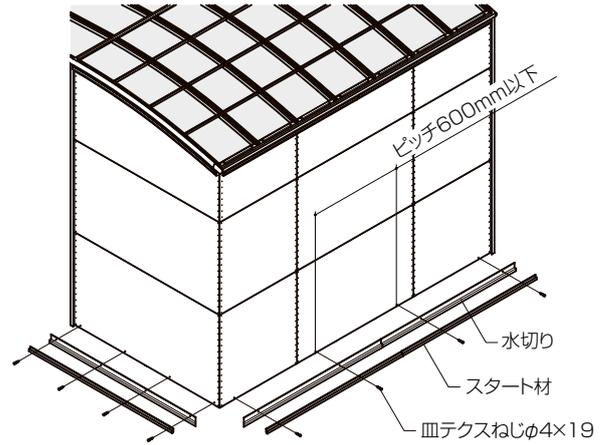
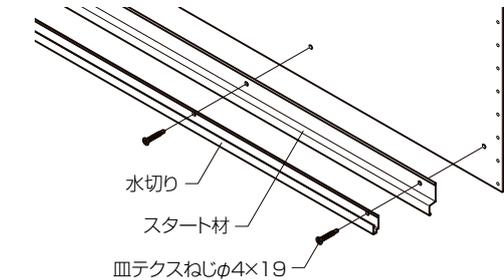
- ・ 信越化学工業 シーラント72
- ・ 東芝シリコーン トスシール380
- ・ 東レシリコーン SE960

- ②軒天部材のコーナー部にコーナーキャップを取付けます。
 ※軒天部材のコーナー部は使用した軒天専用のコーナーキャップを使用してください。
 ※補強ポール干渉部は、下図のようにコーナーキャップを切断して使用してください。



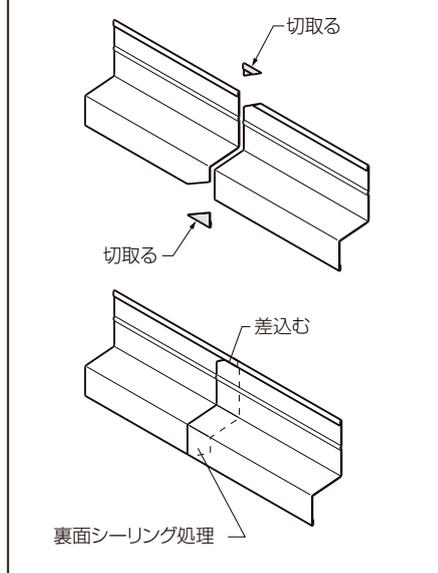
■水切り、スタート材の取付け

- 水切り、スタート材を取付けます。
- ※水切り、スタート材は裏面化粧パネルを通して胴縁に固定します。
- ※水切り、スタート材は固定ピッチを同一にし、重ねて固定してください。(P≦600)
- ※穴位置は加工図を参照してください。



※水切りはG.L面より5mm上げて取付けます。

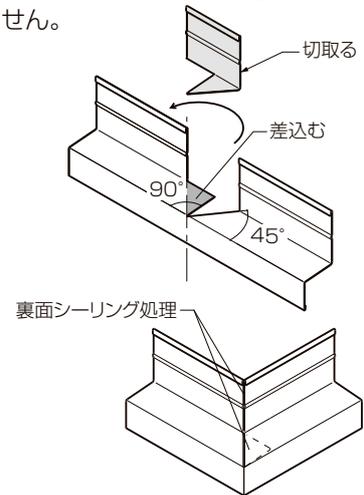
■連結部の加工例



■出隅部の加工例

(土台連結水切り23を使用したとき)

※連結部の、のみ込みはl寸法に含まれません。

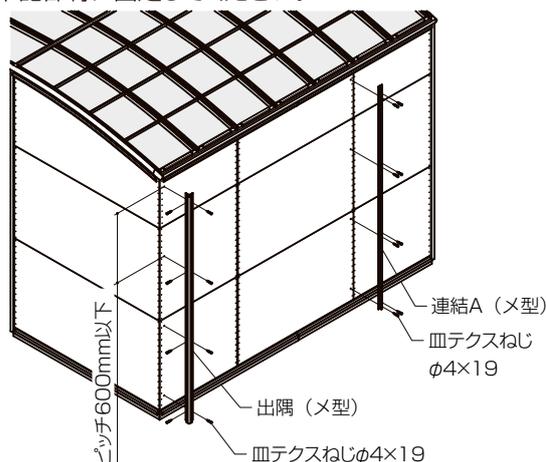


▲ 注意

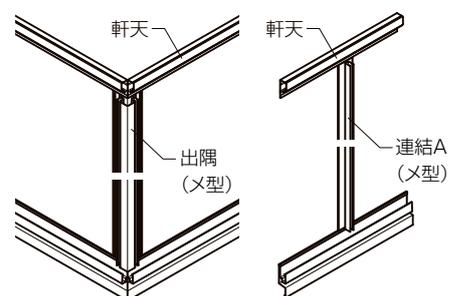
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- 当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72 ・東レシリコーン SE960
- ・東芝シリコーン トスシール380

■出隅・連結部材の取付け

- 出隅 (×型)、連結A (×型) 部材を取付けます。
- ※裏面化粧パネルを通して必ず下記部材に固定してください。
- 出隅 (×型) : コーナー柱
- 連結A (×型) : 間柱A



※出隅 (×型)、連結A (×型) 部材はそれぞれ軒天と水切りの内々に入るようにして取付けます。



7 サイディングの取付け

①サイディングを裏面化粧パネルを通して必ず下記部材に固定します。

横張りのとき:各柱

縦張りのとき:胴縁

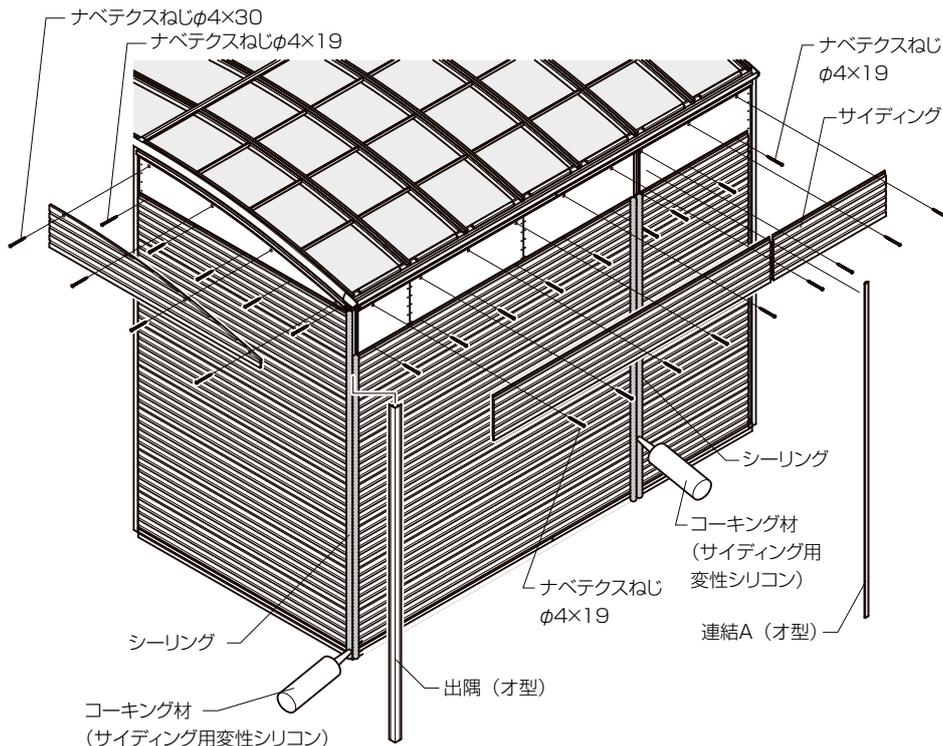
※サイディングは厚さ15mm程度（軒天部材の見込み寸法が24mm以下であること）の金属サイディングを使用してください。

※垂木下部分は垂木曲線に合わせて加工してください。

※フラット屋根仕様端部垂木下に取付けの際に施工がしづらい場合は、一度側枠を取外してからサイディングを取付け、その後、再度側枠を取付けてください。

※スパンサイディング張付けの場合はかん合形状の特性上、縦張りにした場合見る方向によってかん合目地の見えやすい方向と見えにくい方向があります。目地を目立たなくするためには視線が集まると思われる位置から遠い方向より張り始めてください。詳細はスパンサイディングの施工マニュアルを参照してください。

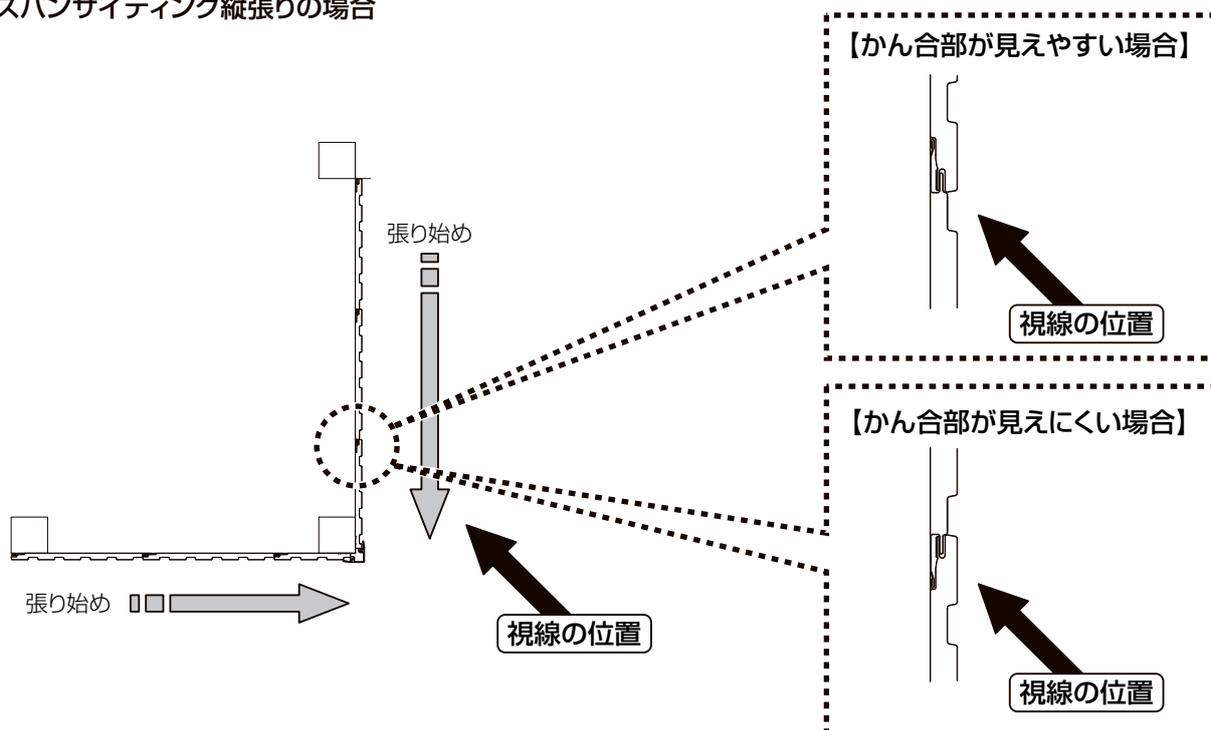
②出隅（オ型）、連結A（オ型）をはめ込みます。



▲ 注意

- サイディング施工要領にしたがい、サイディング小口および役物個所にはコーキング材を充て込んでください。
- サイディングの運搬・施工のときには手袋などを着用してください。サイディングの切断部分は鋭く、ケガの原因となります。

●スパンサイディング縦張りの場合



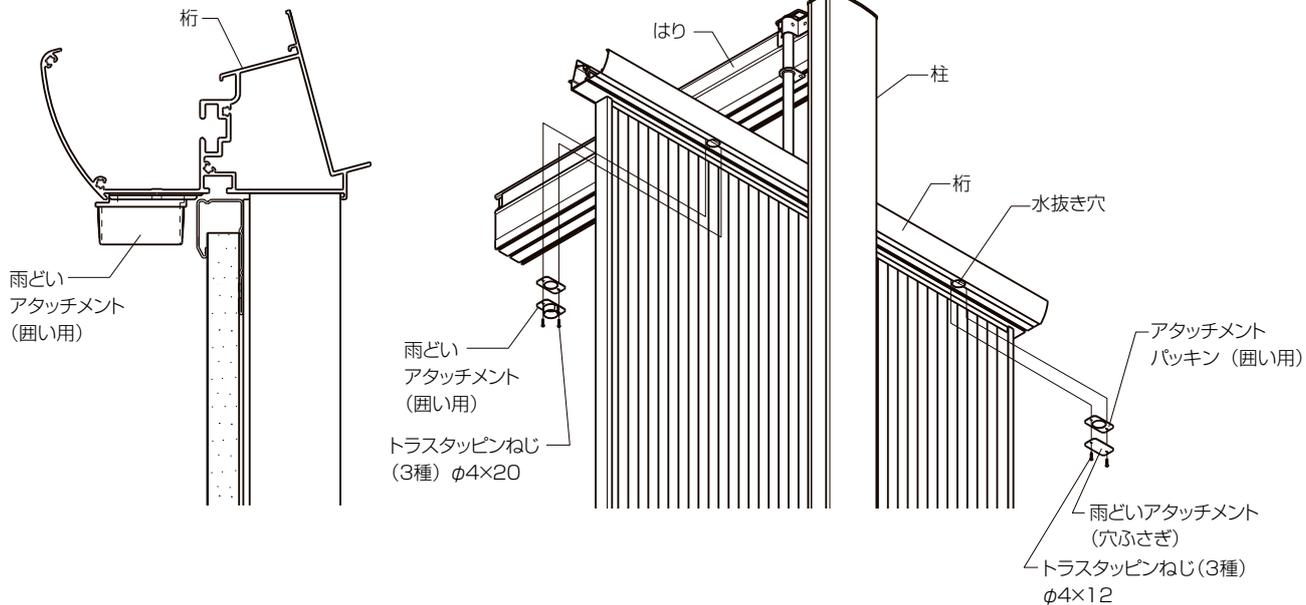
8 雨どいアタッチメントの取付け

※雨どいアタッチメントはサイディングとの干渉をさけるため、本体の雨どいアタッチメントとは別に専用のものを取付けます。

●図にしたがって取付けてください。

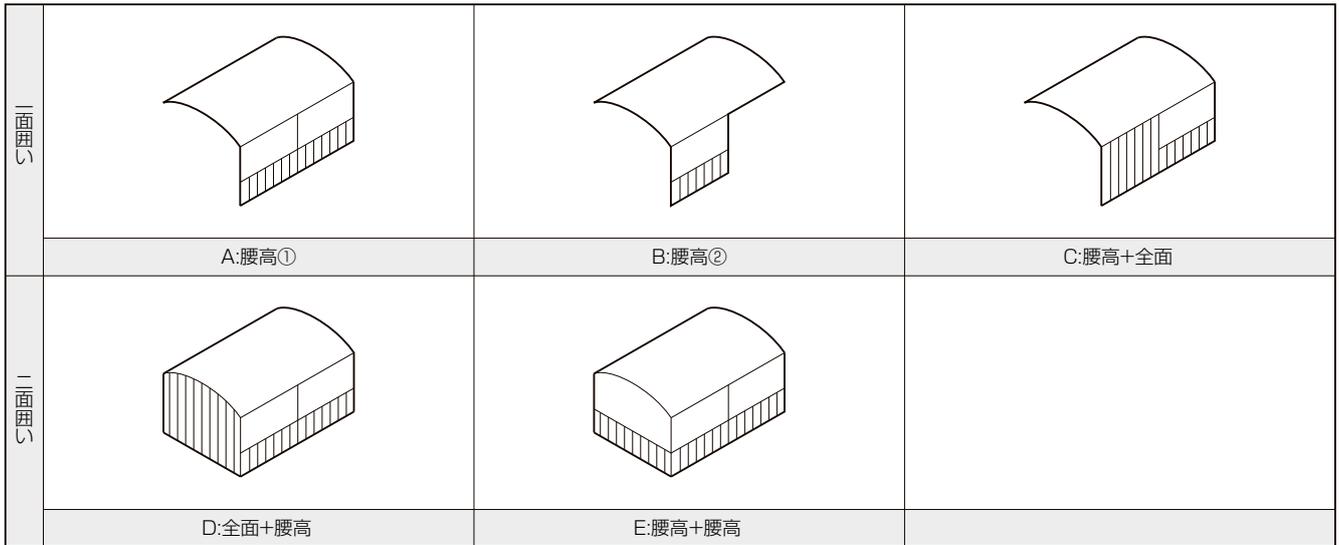
※雨どいアタッチメントの取付け方向を間違えないように注意してください。

【雨どいアタッチメント取付け方向】

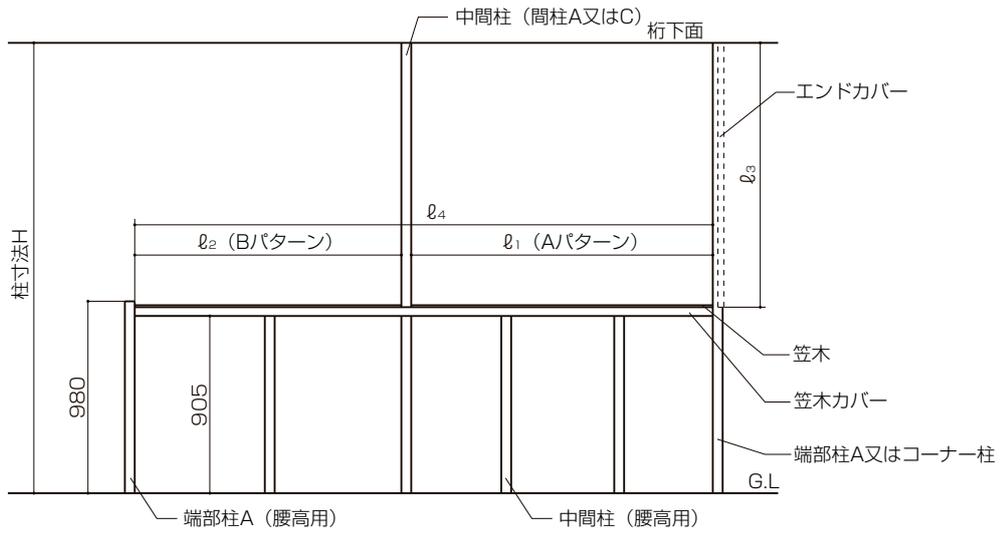


■腰高囲いの取付け

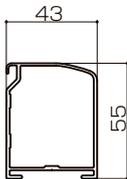
■納まりパターン



1 部材の加工

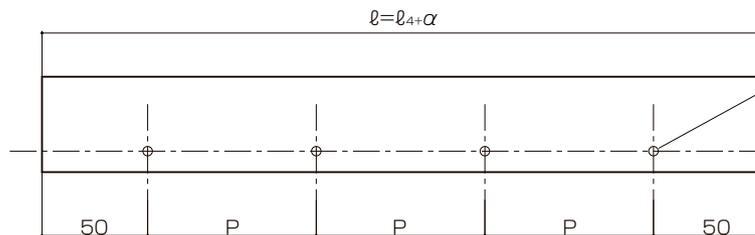
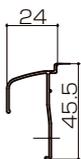


●笠木



※ $l_1 \leq 3250$
 $l_2 \leq 1500$

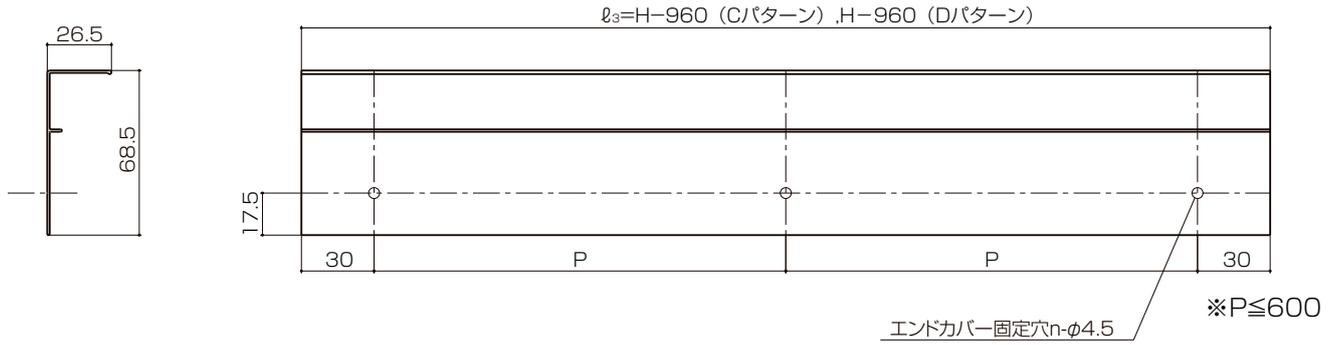
●笠木カバー



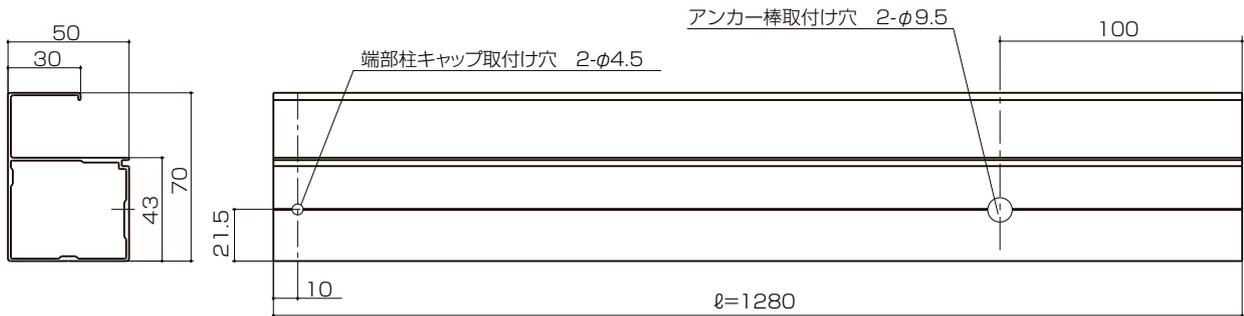
※ $P \leq 600$

α : P.30笠木カバーの取付け参照

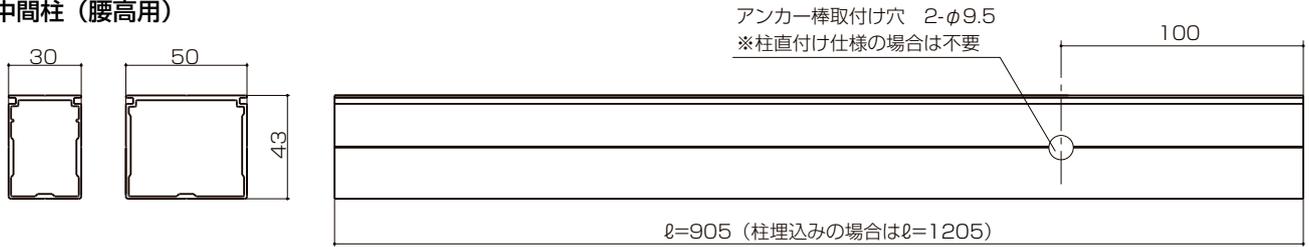
●エンドカバー



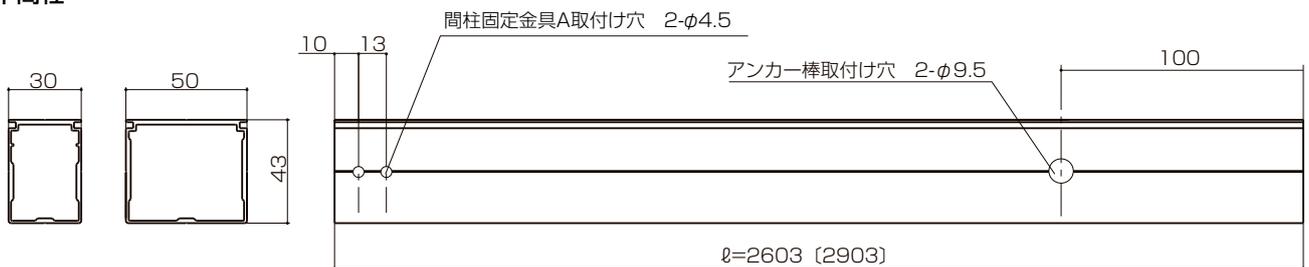
●端部柱A（腰高用）



●中間柱（腰高用）



●中間柱

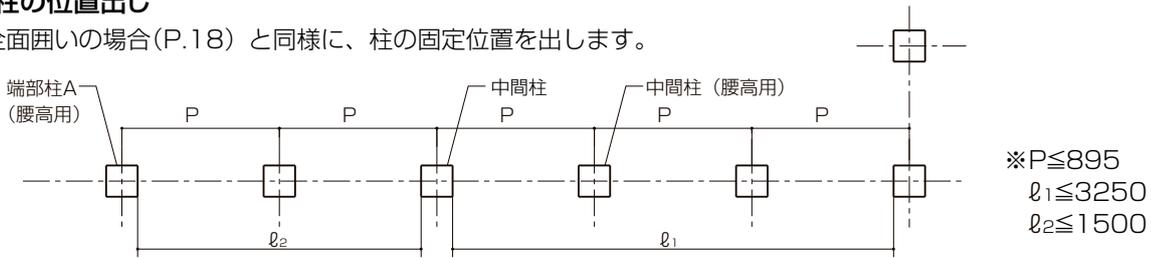


※〔 〕内数値は本体フレームロング柱（H26）仕様の場合を示します。

※図は桁下取付けの場合の ℓ 寸法を示します。垂木下に取付けの場合は、『■部材の加工(P.9)』を参照してください。

2 柱の位置出し

●全面囲いの場合(P.18)と同様に、柱の固定位置を出します。



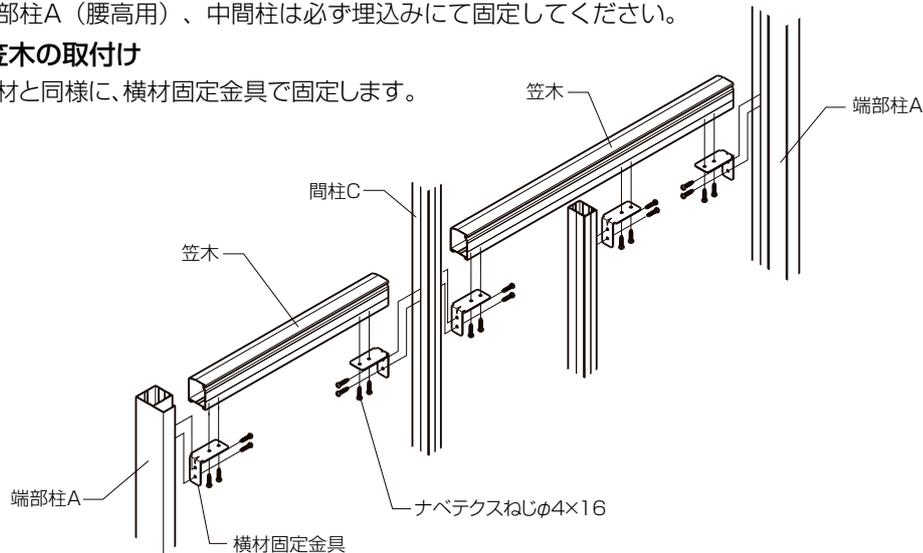
3 柱の取付け

●柱を取付けます。『2 柱の取付け(P.19)』参照

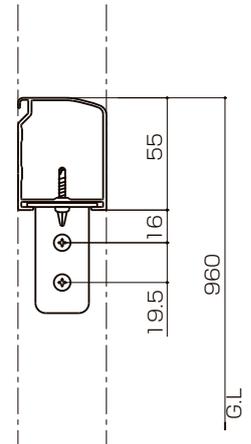
※端部柱A (腰高用)、中間柱は必ず埋込みにて固定してください。

4 笠木の取付け

●横材と同様に、横材固定金具で固定します。



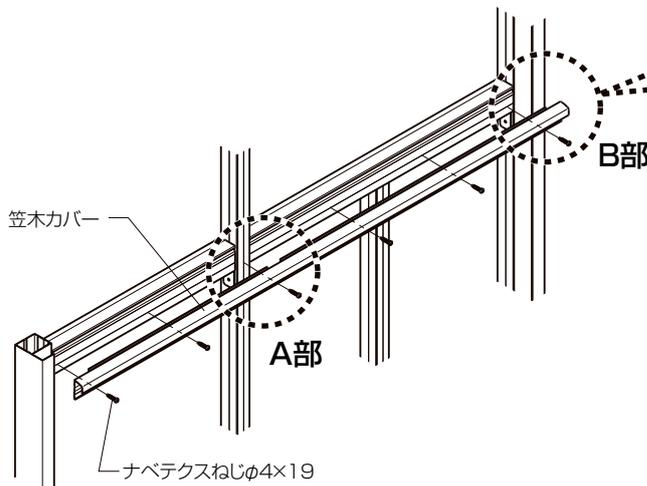
・笠木取付け位置



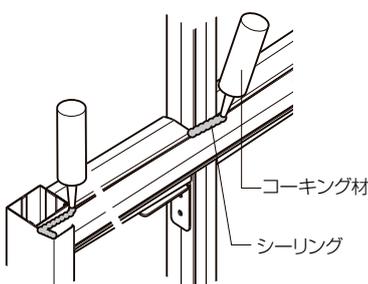
5 笠木カバーの取付け

●笠木に笠木カバーを取付けます。

※柱との干渉部 (図のA,B部) はV溝に沿って切り欠いてください。

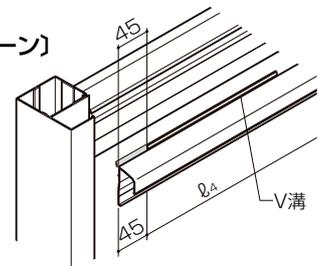


※笠木カバーとのすき間にコーキング材を充てんしてください。

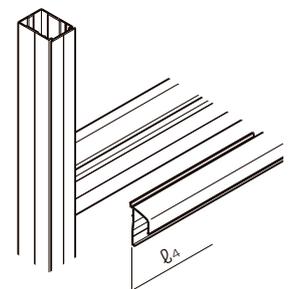


※端部は各納まりに合わせて切り欠いてください。

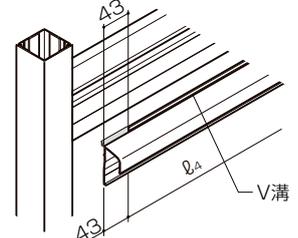
〔A,Bパターン〕



〔Cパターン〕



〔D,Eパターン〕

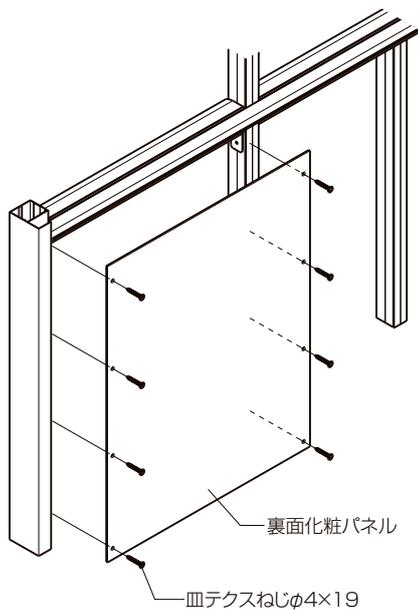


▲ 注意

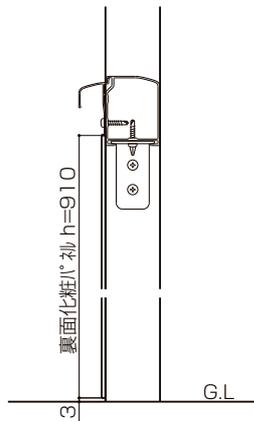
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- 当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・東レシリコン SE960

6 裏面化粧パネルの取付け

●裏面化粧パネルを取付けます。『4 裏面化粧パネルの取付け(P.21)』参照

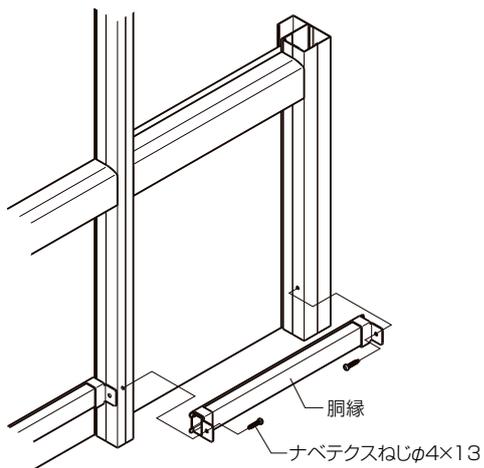


・パネル寸法および取付け位置

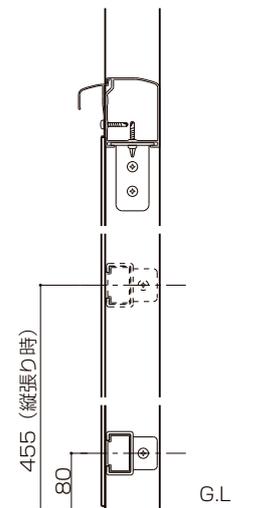


7 胴縁の取付け

●胴縁を取付けます。『5 胴縁の取付け(P.22)』参照

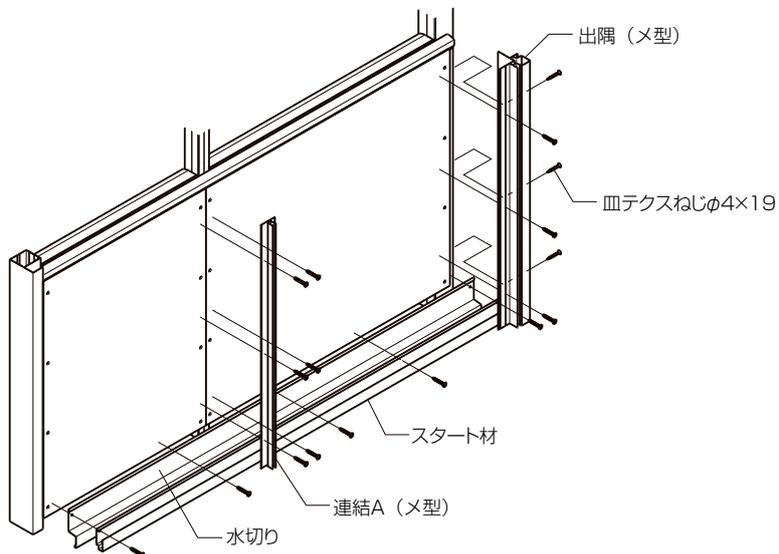


・胴縁取付け位置



8 サイディング役物の取付け

●サイディング役物を取付けます。『6 サイディング役物の取付け(P.23)』参照



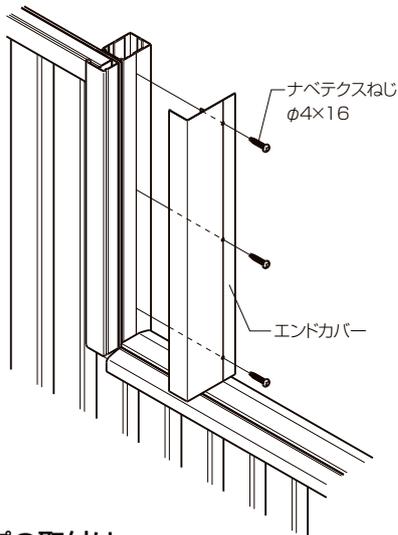
9 サイディングの取付け

●サイディングを取付けます。『4 サイディングの取付け (P.26)』参照

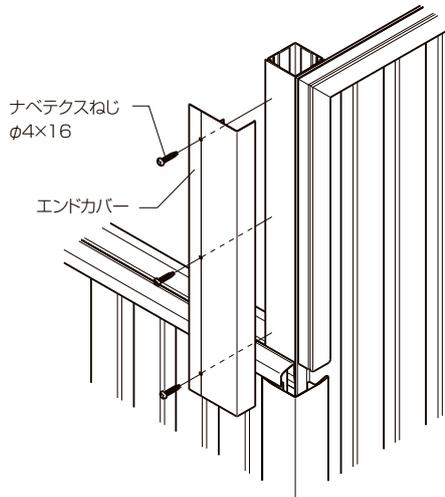
10 エンドカバーの取付け (C, Dパターンの場合のみ)

●サイディング小口面を隠すためエンドバーを取付けます。

〈Cパターン〉



〈Dパターン〉



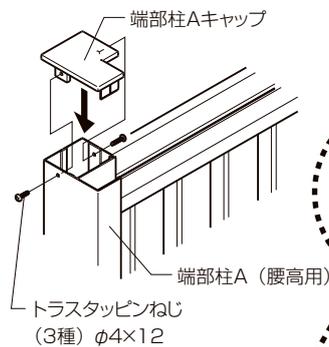
11 キャップの取付け

①キャップを当て、取付け位置にφ3.5の下穴をあけます。

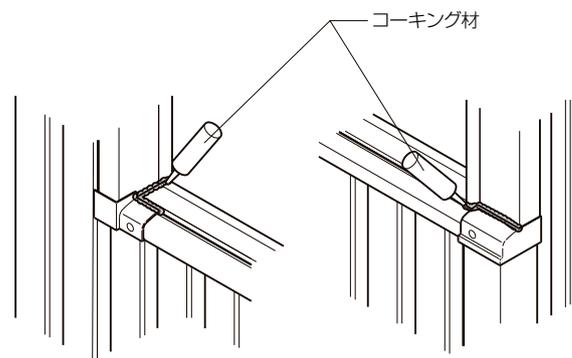
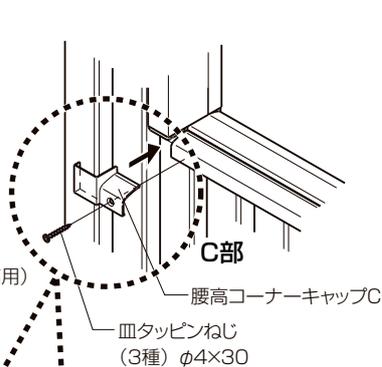
※ただし、C、D、Eパターンの場合、笠木カバーの下穴のみφ4.5にあげ直してください。

②図のようにキャップを固定後、シーリングしてください。

〈Bパターン〉



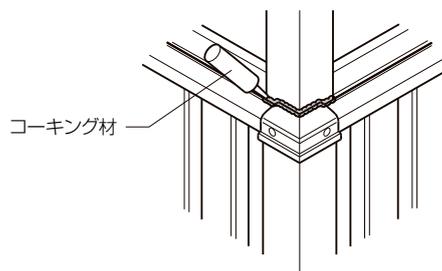
〈Cパターン〉



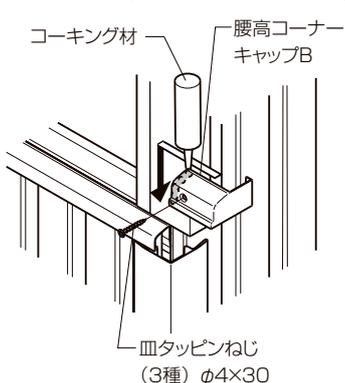
■C部詳細図



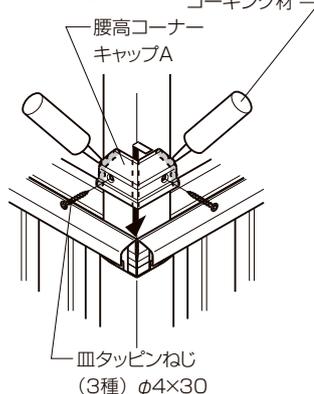
※笠木カバーとの接触面にシーリングをしてから取付けてください。
※腰高コーナーキャップA、Bも同様。



〈Dパターン〉



〈Eパターン〉

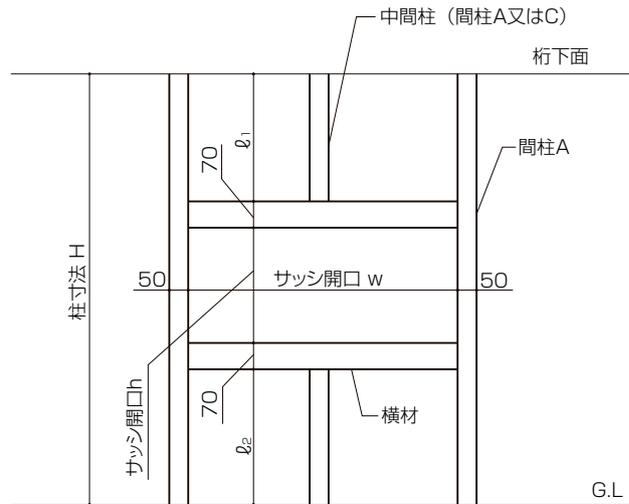


▲注意

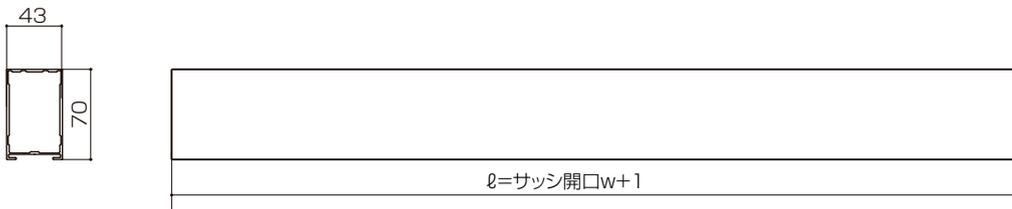
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- 当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・東レシリコン SE960

■サッシの取付け

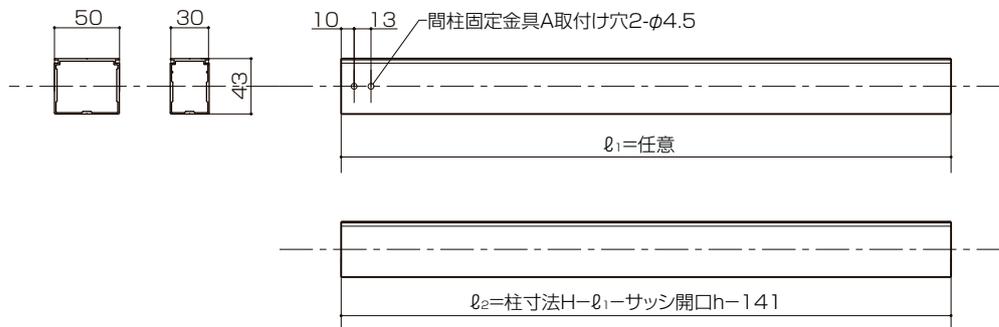
1 部材の加工



●横材

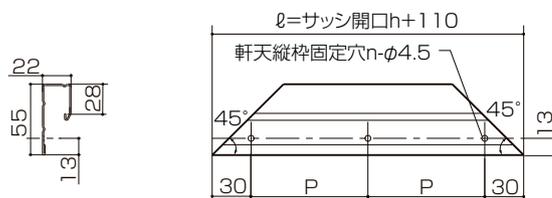


●中間柱 (間柱A、間柱C)



●軒天

・縦枠



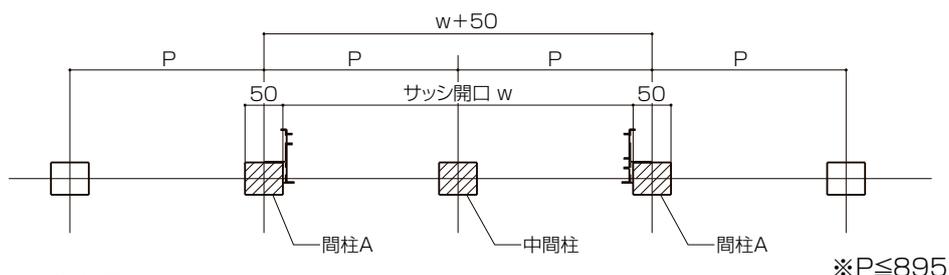
・上下枠



※ $P \leq 600$

2 柱の位置出し

●高窓取付けの際は開口に合わせて柱のピッチを調整してください。



3 柱の取付け

●柱を付けます。『2 柱の取付け(P.19)』参照

※柱は間柱Aを使用してください。

4 横材の取付け

●無目・窓台として横材を使用します。『3 横材の取付け(P.21)』参照

※横材は水平・垂直を正確に測って取付けてください。直角がでてないと窓の開閉に支障をきたす場合があります。

5 中間柱の取付け

●横材の中間に柱を取付けます。『2 柱の取付け(P.19)』『3 横材の取付け(P.21)』参照

6 サッシ枠の組立て・取付け

①サッシ枠を組立てます。

※サッシ枠の組立てはアトモスII半外付け型の組立て要領にしたがってください。

②サッシ枠を取付けます。

※サッシ枠の皿穴以外の取付け穴をφ4.5にあけなおしてください。

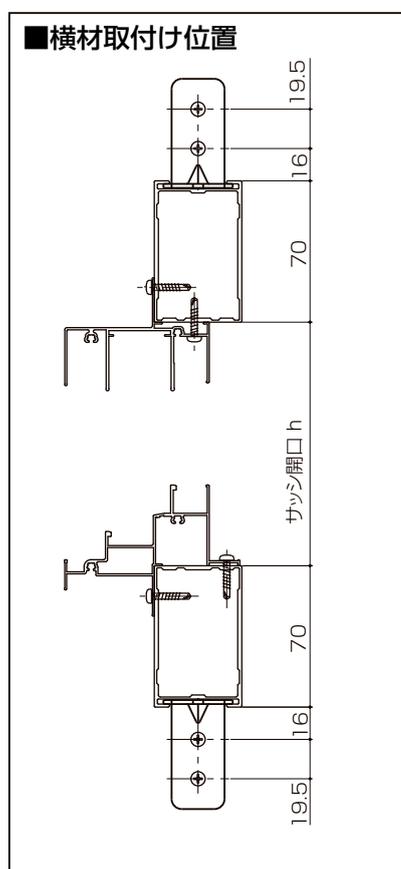
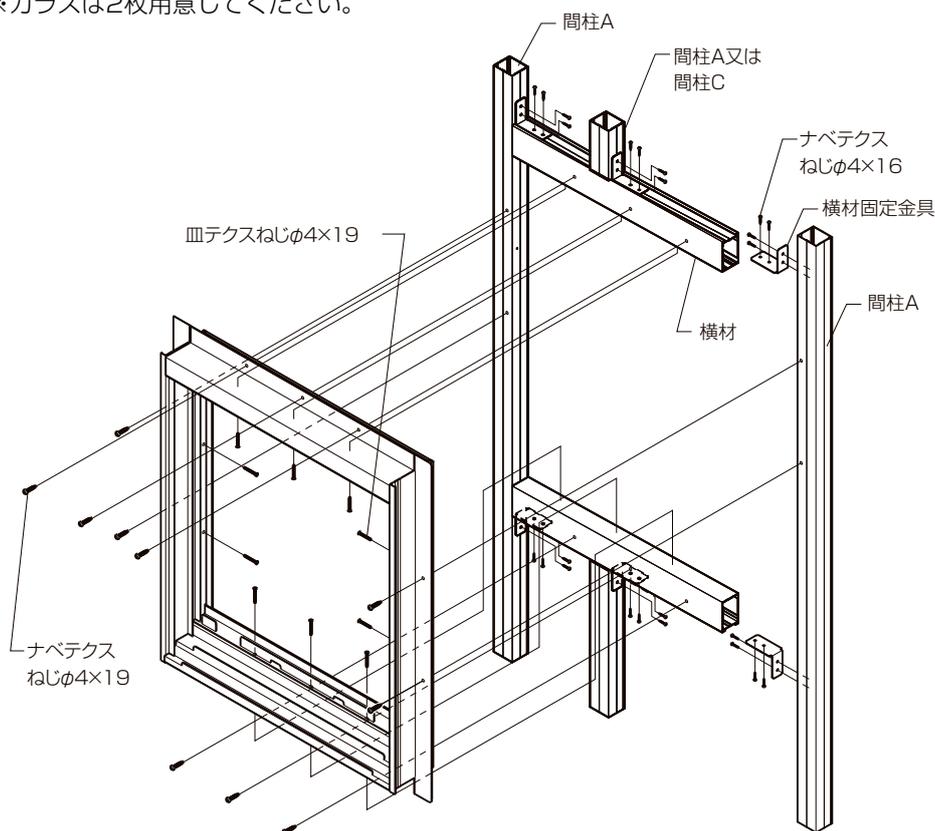
7 障子の組立て・取付け

●アトモスII半外付け型の組立て要領にしたがって障子を組立てます。

ガラス寸法 フリーヤード引違い窓セットの場合	H	W
1間用 WMM*034	475	861
1.5,2間用 WMM*035	475	848

※グレイジングチャンネルは当社指定品（別売り）を使用してください。

※ガラスは2枚用意してください。

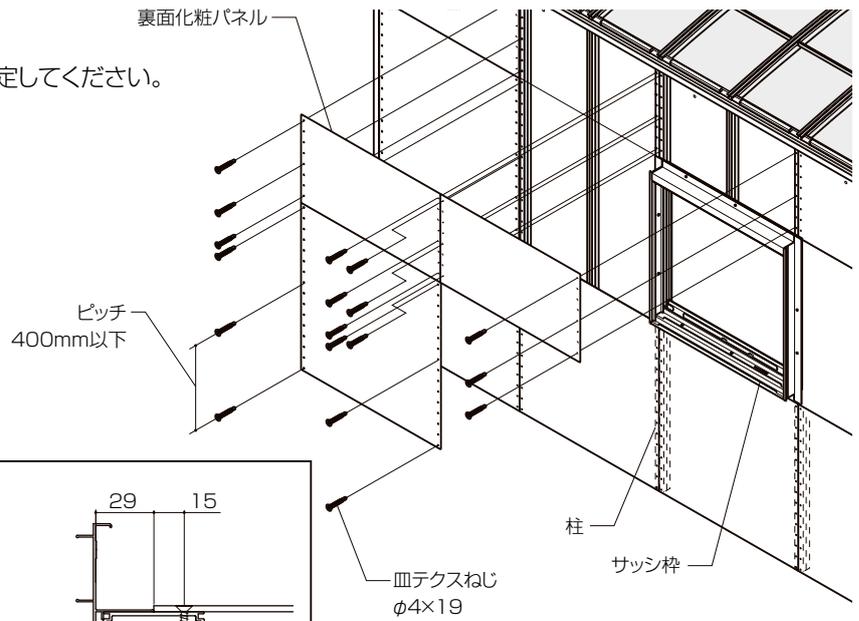
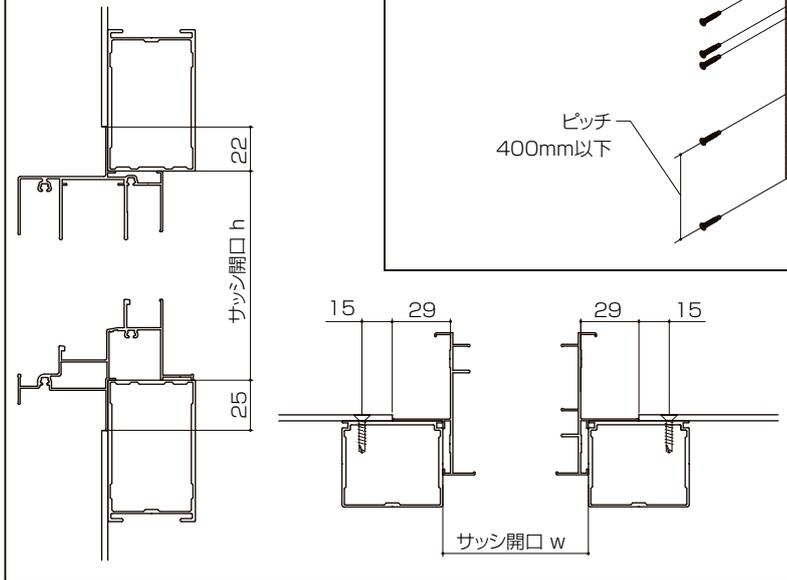


8 裏面化粧パネルの取付け

●裏面化粧パネルを取付けます。

※裏面化粧パネルは必ず間柱A又は間柱Cに固定してください。

■裏面化粧パネル取付け位置



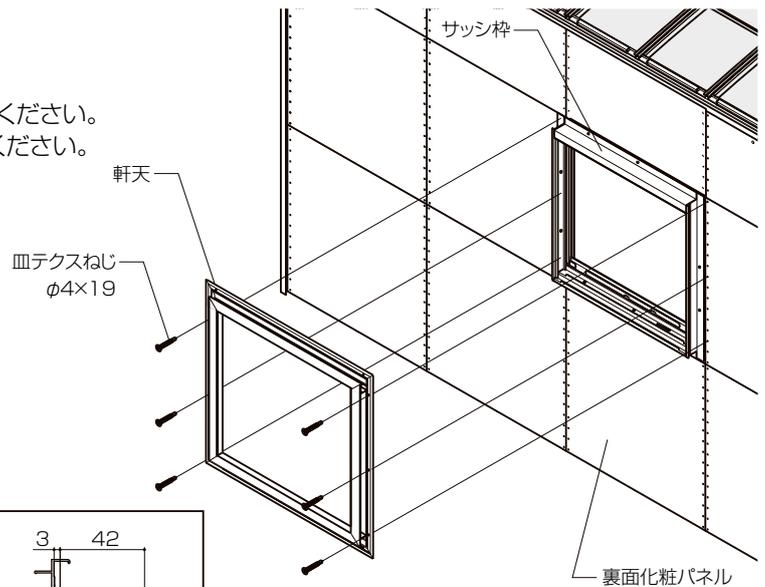
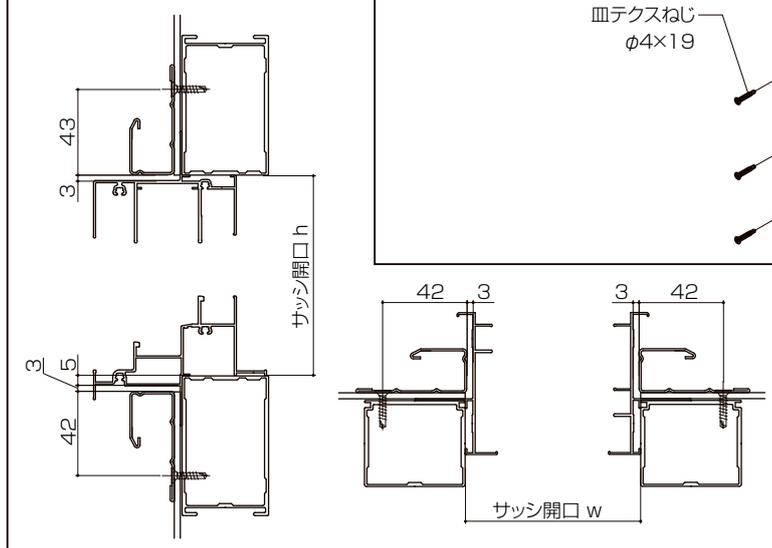
9 軒天の取付け

①軒天を取付けます。

※軒天は裏面化粧パネルを通して柱又は横材に固定してください。

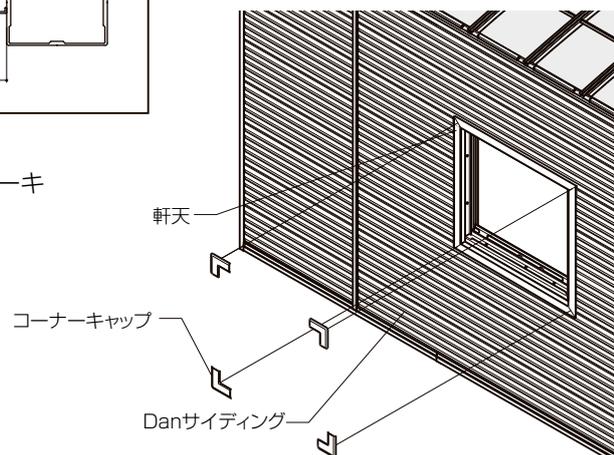
※軒天はサッシ枠とのすき間を3mm程あけて取付けてください。

■軒天取付け位置



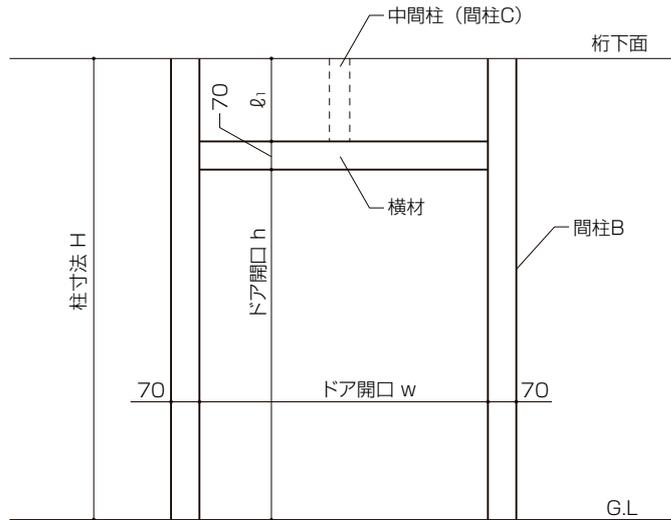
②軒天部材のコーナー部にコーナーキャップを取付けます。

※軒天部材のコーナー部は、使用した軒天部材専用のコーナーキャップで納めてください。

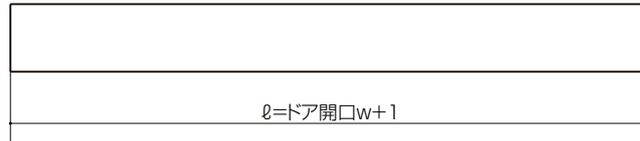
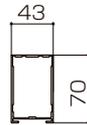


■ドアの取付け

1 部材の加工

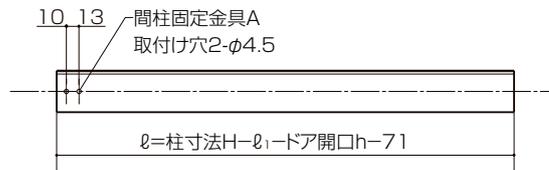
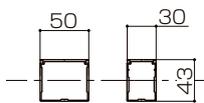


●横材



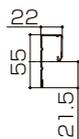
●中間柱

※柱ピッチが895mm以上になる場合は中間柱を追加してください。

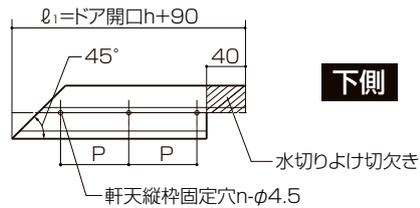


●軒天

・縦枠



上側

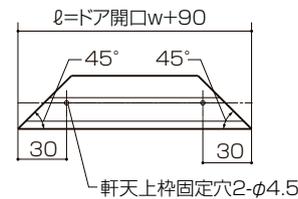


下側

※ $P \leq 600$

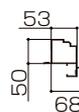
※本図は外観左側を示し、右側は本図と対称とします。

・上枠

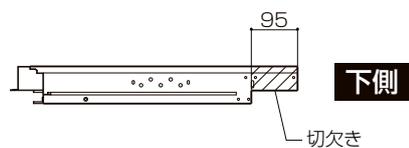


●ドア縦枠

・丁番側縦枠

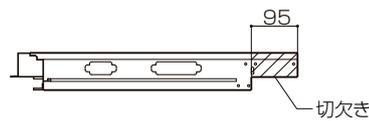
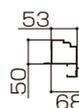


上側



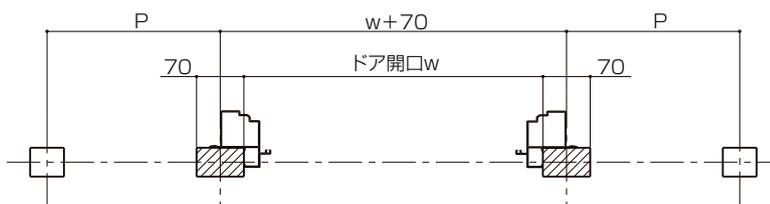
下側

・戸先側縦枠



2 柱の位置出し

●ドア取付けの際は開口に合わせて柱のピッチを調整してください。



※ $P \leq 895$

3 柱の取付け

●柱を付けます。『2 柱の取付け(P.19)』参照

※柱は間柱Bを使用してください。

4 横材の取付け

●横材を柱に取付けます。『3 横材の取付け(P.21)』参照

※横材は水平・垂直を正確に測って取付けてください。直角がでてないとドアの開閉に支障をきたす場合があります。

5 ドア枠の組立て・取付け

①ドア枠を組立てます。

※ドアはクリアガラスドア（半外付け型）を使用してください。

※ドア枠の組立てはクリアガラスドア（半外付け型）の組立て要領にしたがってください。

②ドア枠の取付け穴位置に合わせて柱・横材にφ3.5の下穴をあけます。

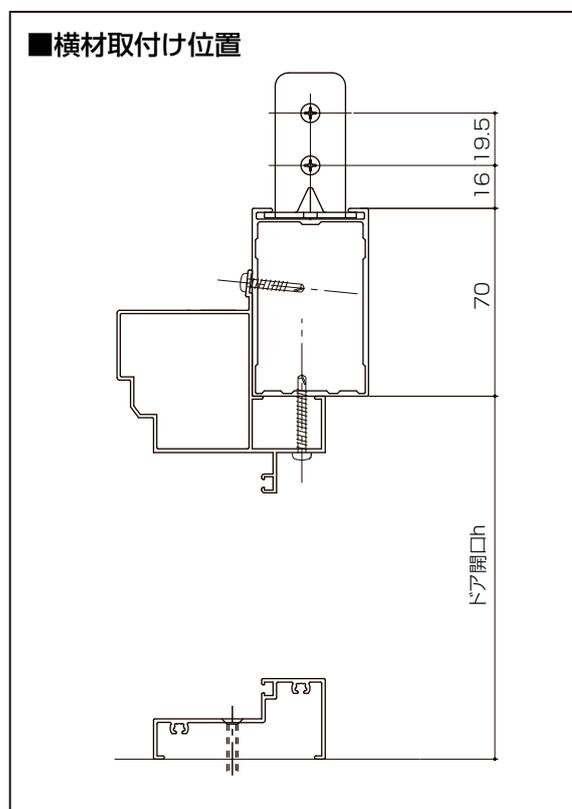
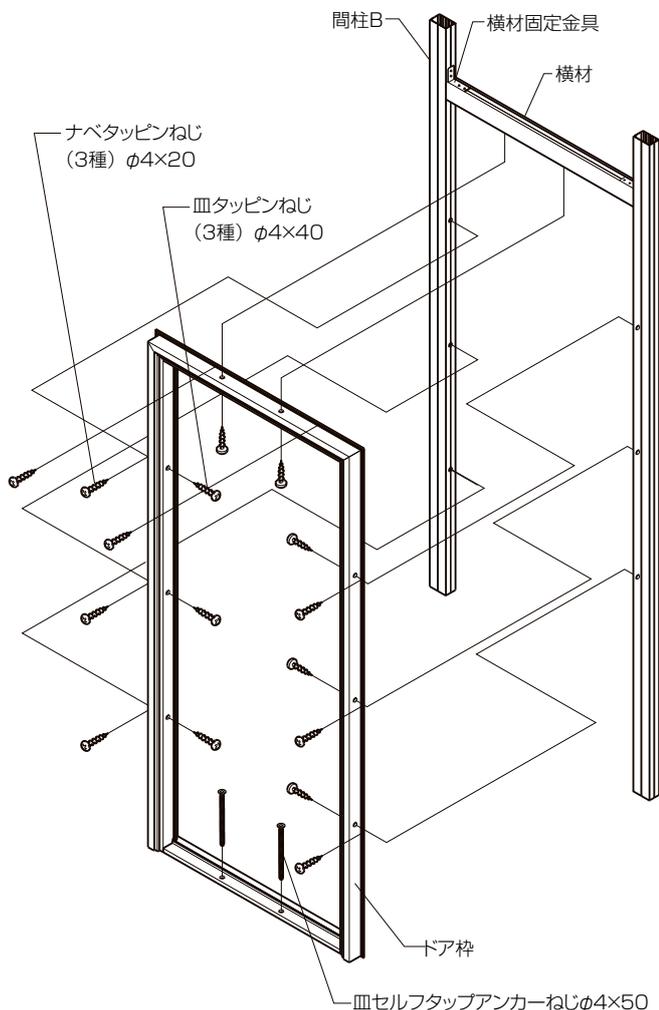
③ドア枠を取付けます。

6 ドア本体の組立て・取付け

①クリアガラスドア（半外付け型）の組立て要領にしたがってドア本体を組立てます。

②丁番を取付け、ドア本体を吊込みます。

※ガラスはクリアガラスドアの規格寸法のものを使用してください。

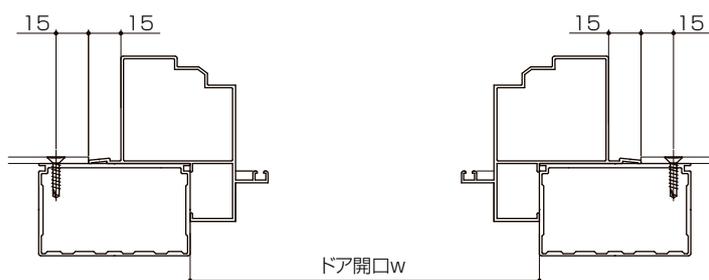
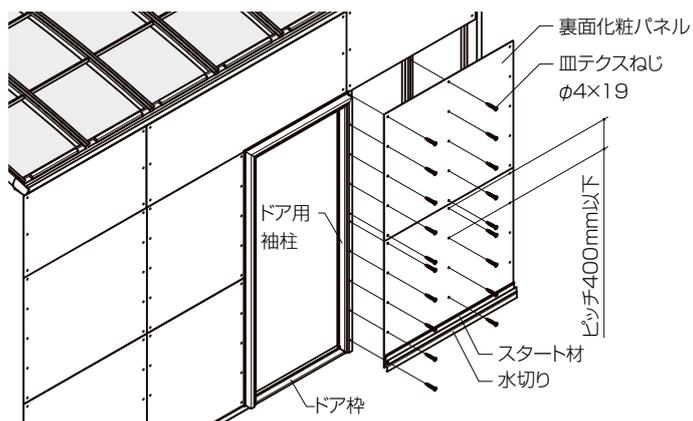
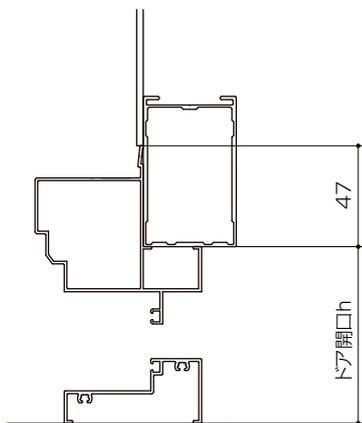


7 裏面化粧パネルの取付け

●裏面化粧パネルを取付けます。

※裏面化粧パネルは必ず間柱B又は横材に固定してください。

■裏面化粧パネル取付け位置



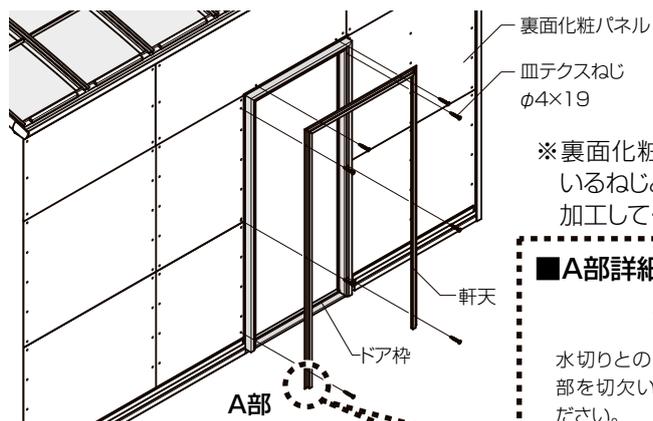
8 軒天の取付け

①軒天を取付けます。

※軒天は裏面化粧パネルを通して柱又は横材に固定してください。

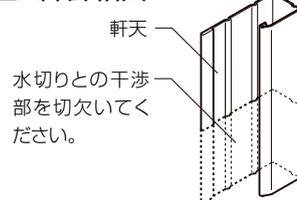
※水切りとの干渉部（G部）は切欠いてください。

※軒天はドア枠とのすき間を1.5mm程あけて取付けてください。

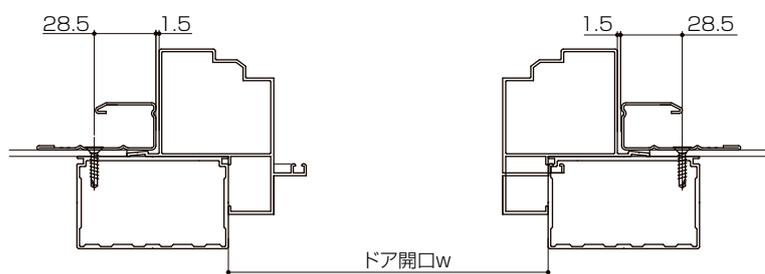
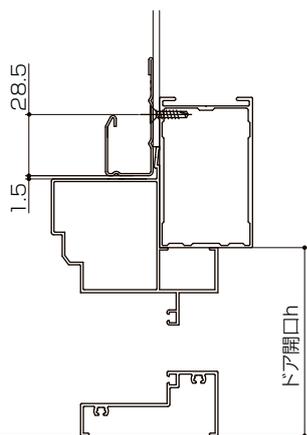


※裏面化粧パネルを固定しているねじと干渉しない位置に加工してください。

■A部詳細図

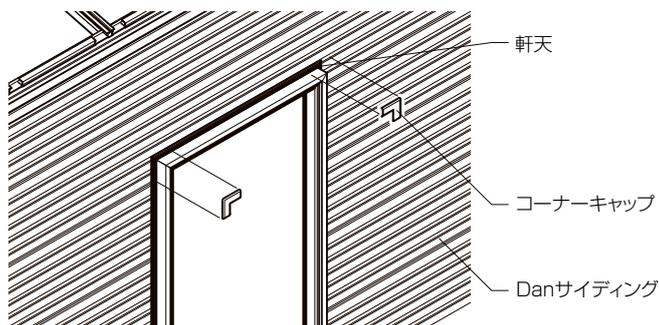


■取付け位置



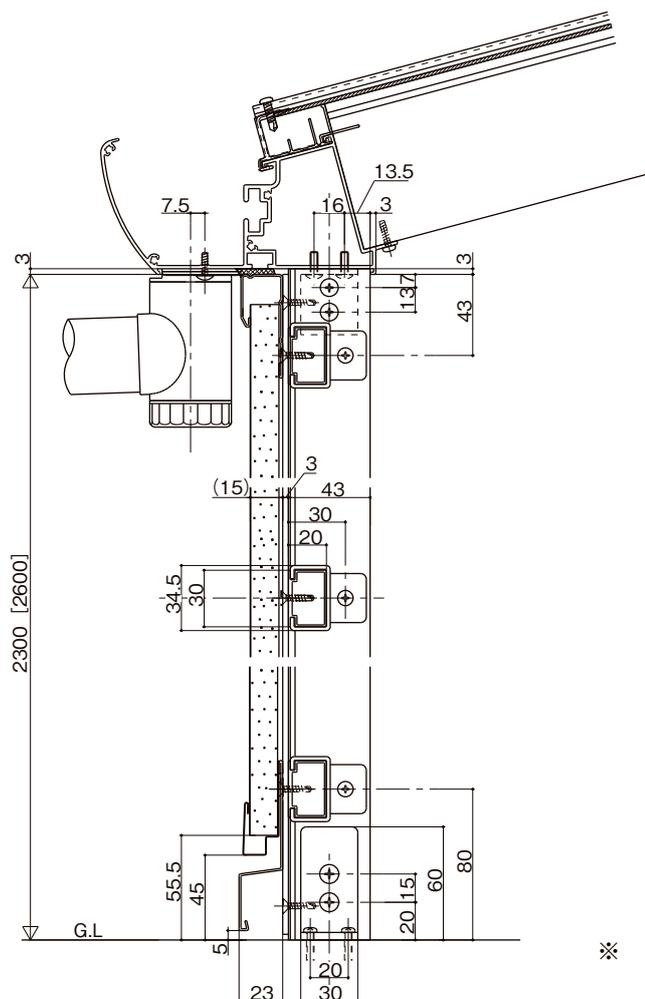
②軒天部材のコーナー部にコーナーキャップを取付けます。

※軒天部材のコーナー部は、使用した軒天部材専用のコーナーキャップで納めてください。



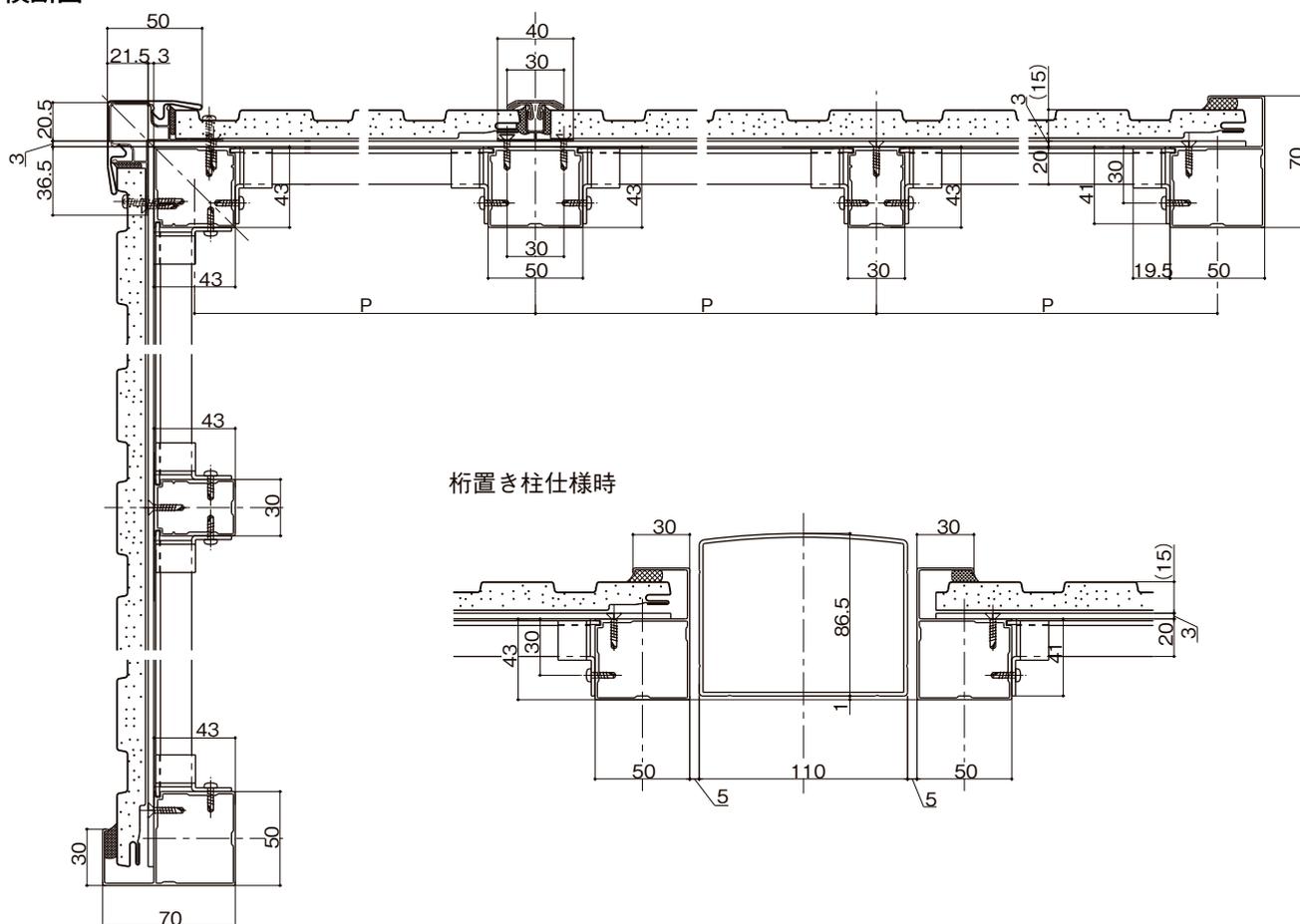
基本図・姿図

●長さ方向縦断面

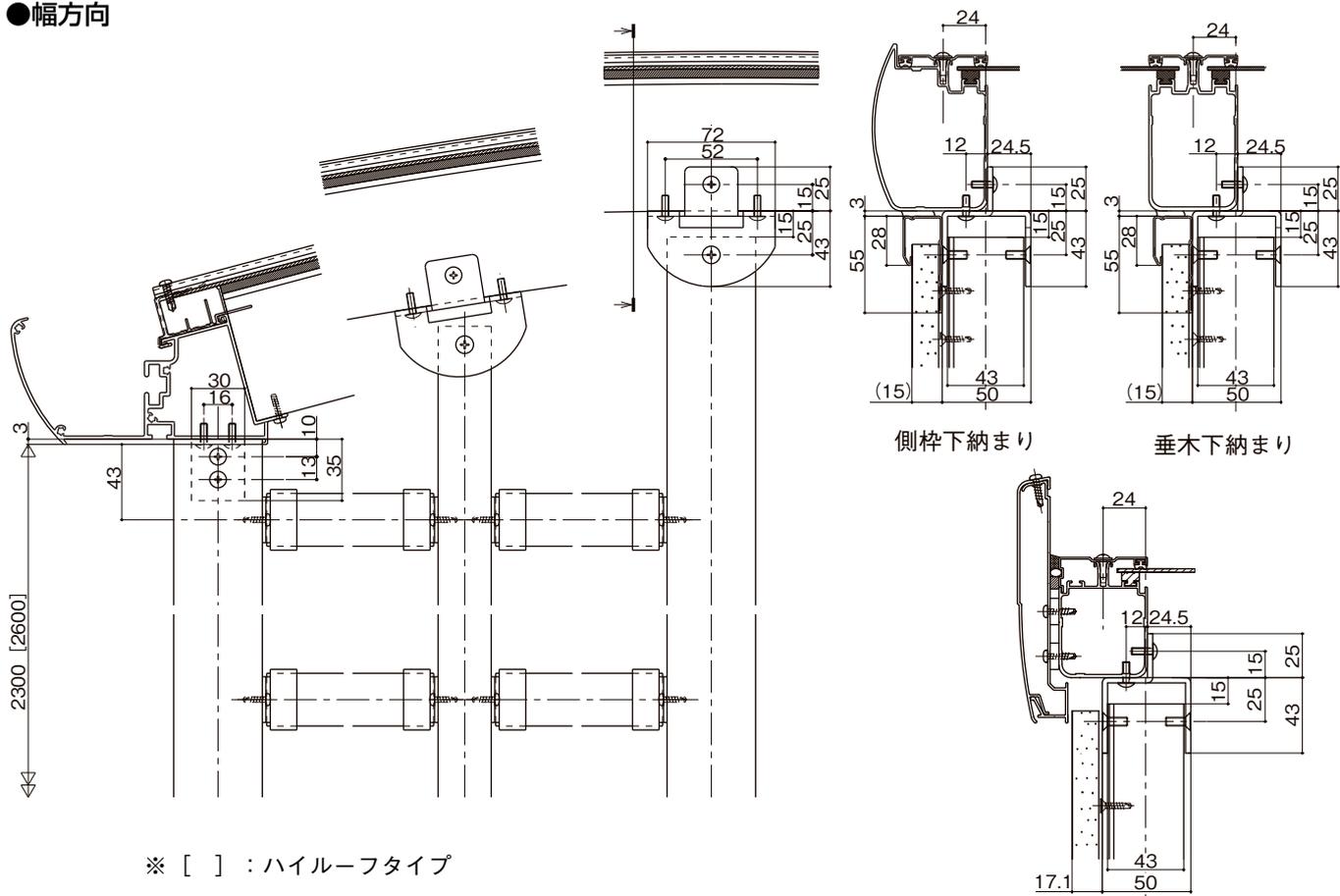


※ [] : ハイルフタイプ

●横断面



●幅方向

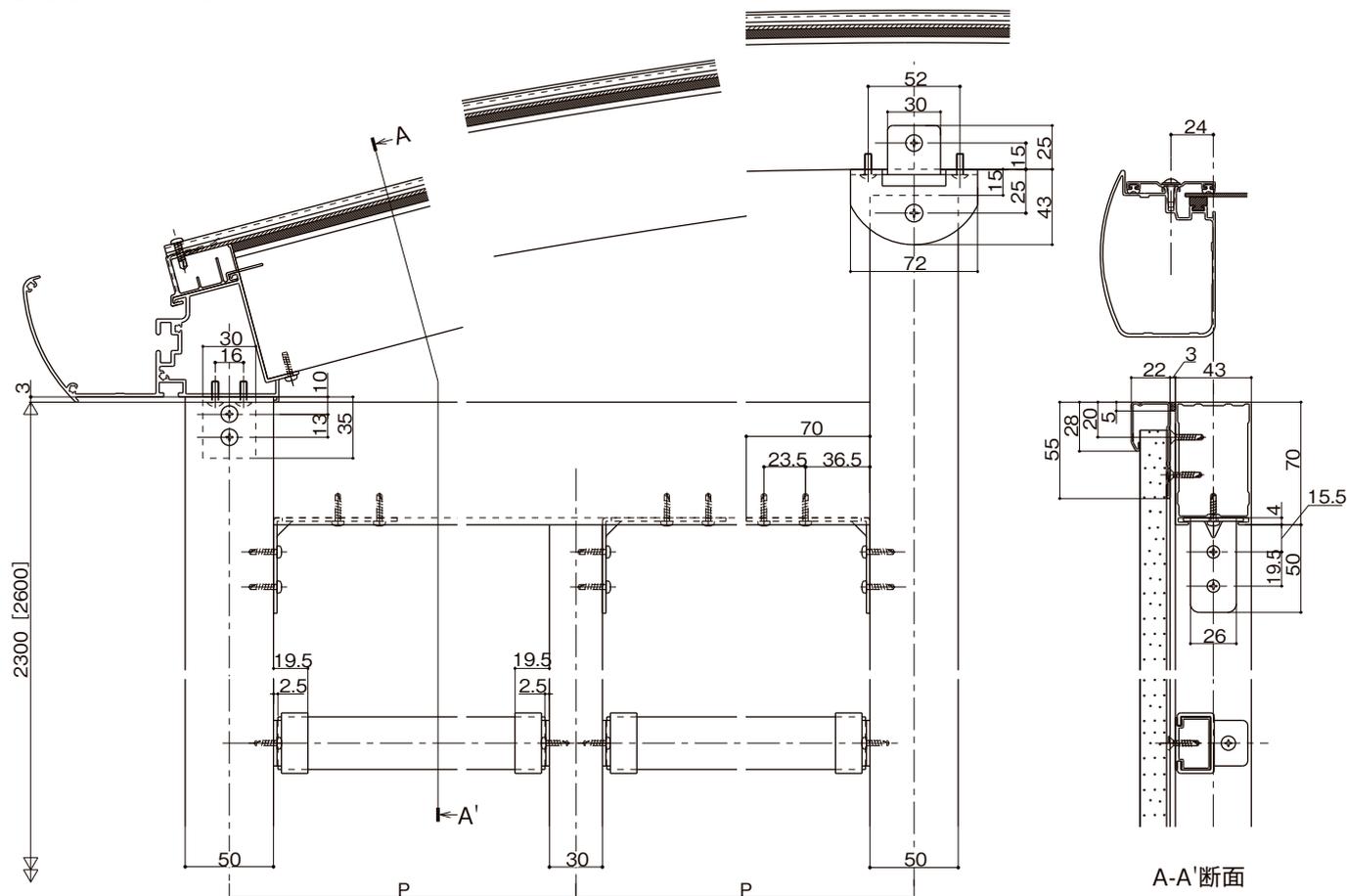


側枠下納まり

垂木下納まり

フラット屋根仕様 端部垂木下納まり

●幅方向ランマ付き



A-A'断面

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

●旭ステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭ステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号 MAK-207C

事業所コード KGV1

2016.8.1 発行

